

令和元年度 一般会計・特別会計決算
(2019年度) 並びに事業会計決算等

決算常任委員会資料

健康福祉分科会分担分

令和2年(2020年)10月提出

| 部 名 | ページ 番 号 | 資 料 名 | 要求委員名 | | | |
|------|------------|--|-------|--|--|--|
| | | | | | | |
| 児 童 | 1 | 子供の生活支援事業の詳細 | 西岡 | | | |
| 児 童 | 2～5 | 第1期障がい児福祉計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 児 童 | 6～12 | 第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 児 童 | 13 | 子ども見守り家庭訪問事業の概要 | 矢野 | | | |
| 児 童 | 14 | 児童虐待対応件数の推移（過去5年間） | 坂口 | | | |
| 児 童 | 15 | 親支援プログラム事業の概要及び実施状況（過去5年間） | 坂口 | | | |
| 児 童 | 16 | 令和元年度（2019年度）子育て支援コンシェルジュ事業の相談件数・内容 | 坂口 | | | |
| 児 童 | 17 | 過去2年間の病児・病後児保育室の利用実績 | 村口 | | | |
| 児 童 | 18 | 令和元年度（2019年度）児童発達外来の利用実績 | 村口 | | | |
| 福 祉 | 1 | 令和元年度（2019年度）福祉避難所数及び福祉避難所運営マニュアルの策定状況 | 坂口 | | | |
| 福 祉 | 2 | 中国残留邦人生活支援事業の概要 | 西岡 | | | |
| 福 祉 | 3 | 生活困窮者に対する就労支援の近隣市の取組状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 4 | 社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定状況及び避難訓練の実施状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 5 | 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定状況及び避難訓練の実施状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 6 | 公益社団法人吹田市シルバー人材センター運営補助事業 | 西岡 | | | |
| 福 祉 | 7～12 | 第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 13 | 令和元年度（2019年度）地区敬老行事運営委員会の主な構成団体（民生・児童委員協議会を除く） | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 14～16 | 吹田市民はつらつ元気大作戦の実績（平成29年度（2017年度）～令和元年度（2019年度）） | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 17～18 | 令和元年度（2019年度）介護人材確保に係る事業実績一覧 | 矢野 | | | |
| 福 祉 | 19 | 令和元年度（2019年度）高齢者いこいの間管理運営事業 | 矢野 | | | |
| 福 祉 | 20 | 令和元年度（2019年度）高齢者フレイル等予防推進事業実績 | 矢野 | | | |
| 福 祉 | 21～32 | 第5期障がい福祉計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 33～34 | 国保連合会委託事務事業の事業内容及び事業費増加の内訳 | 矢野 | | | |
| 健康医療 | 1 | 令和元年度（2019年度）受動喫煙防止及び喫煙者減少に向けた取組と実績 | 柿原 | | | |

| 部 名 | ペー ジ 番 号 | 資 料 名 | 要求委員名 | | | |
|------|-------------------|---|-------|--|--|--|
| | | | | | | |
| 健康医療 | 2 | 過去5年間の国民健康保険料滞納者への土日・夜間相談窓口の対応状況 | 坂口 | | | |
| 健康医療 | 3 | 過去5年間の国民健康保険料滞納者へのコールセンター納付勧奨及び訪問催告の状況 | 坂口 | | | |
| 健康医療 | 4 | 令和元年度(2019年度) 不妊治療費助成事業の実績 | 村口 | | | |
| 健康医療 | 5 | 産婦・新生児・未熟児訪問の詳細 | 西岡 | | | |
| 健康医療 | 6 | 産婦・新生児・未熟児訪問の近隣市の取組状況 | 馬場 | | | |
| 健康医療 | 7 | 吹田市口腔ケアセンターの事業実績と定員を超え申込みのあった事業の申込者数(過去5年間) | 馬場 | | | |
| 健康医療 | 8 | がん検診の目標値と受診者数及び受診率の推移(過去5年間) | 矢野 | | | |
| 健康医療 | 9 | 令和元年度(2019年度)の産婦の口腔ケアと歯が生え始めの子供の口腔ケアの実績 | 村口 | | | |

兒童部資料

| 部 名 | ページ 番 号 | 資 料 名 | 要求委員名 | | | |
|-----|------------|-------------------------------------|-------|--|--|--|
| | | | | | | |
| 児 童 | 1 | 子供の生活支援事業の詳細 | 西岡 | | | |
| 児 童 | 2～5 | 第1期障がい児福祉計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 児 童 | 6～12 | 第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 児 童 | 13 | 子ども見守り家庭訪問事業の概要 | 矢野 | | | |
| 児 童 | 14 | 児童虐待対応件数の推移（過去5年間） | 坂口 | | | |
| 児 童 | 15 | 親支援プログラム事業の概要及び実施状況（過去5年間） | 坂口 | | | |
| 児 童 | 16 | 令和元年度（2019年度）子育て支援コンシェルジュ事業の相談件数・内容 | 坂口 | | | |
| 児 童 | 17 | 過去2年間の病児・病後児保育室の利用実績 | 村口 | | | |
| 児 童 | 18 | 令和元年度（2019年度）児童発達外来の利用実績 | 村口 | | | |

子供の生活支援事業の詳細

1 事業目的

子供たちの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の解消及び貧困の連鎖を断ち切るため子供の生活に関する実態を把握し、効果的な支援のあり方の検証とともに新たな施策の構築を検討します。

2 事業内容

「吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に基づき、本市の子供を取り巻く現状の分析と課題を整理し、子供の貧困に関する指標や取り組むべき事業の検討を行い、関係部局間の有機的な連携を図り、さらには地域の社会資源との連携や掘り起こし等への発展を目指すものです。

3 事業実績（令和元年度（2019年度））

(1) 子供の貧困に関するワーキングチーム（16室課で構成）

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」及び「子供の貧困対策に関する大綱」に基づき、次世代を担う子供たちの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の解消及び貧困の連鎖を断ち切るための対策を検討するために立ち上げた庁内組織です。

令和元年度（2019年度）は2回開催し、子供の貧困に関する指標の状況や各室課における貧困に係る取組についての情報共有や意見交換を行いました。

(2) 子供の学習・生活支援事業（所管：福祉部生活福祉室）

子供の学習・生活支援事業では、おおむね18歳までの子供とその保護者に対し、子供の健全育成のために、訪問等により日常生活支援・養育支援・教育支援を行い、中学生に対して週に2日2時間、市内4箇所で学習支援教室を行っています。

令和元年度（2019年度）は、61名の利用があり、利用者全員が高校に進学しました。

(3) 子供食堂への補助金の検討（所管：児童部家庭児童相談課（現所管：子育て政策室））

令和2年度（2020年度）予算に向けて、市内で子供食堂を開設する団体等に対しての支援について検討を行いました。

第1期障がい児福祉計画の進捗状況 No. 1

| 成果目標 (Plan) | 障がい児支援の提供体制の整備等 | |
|---|---|------------------------|
| (1) 目標値と考え方 | | |
| ① 児童発達支援センターの設置 平成29年度 (2017年度) 実績 設置済 | 保育所等訪問支援を併設し、設置 | 令和2年度 (2020年度) 目標 1か所 |
| ① 保育所等訪問支援の充実 平成29年度 (2017年度) 実績 3か所 | さらに1か所の設置を目指す | 令和2年度 (2020年度) 目標値 4か所 |
| ② 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等サービス事業所の確保 平成29年度 (2017年度) 実績 3か所 | さらに1か所の設置を目指す | 令和2年度 (2020年度) 目標値 4か所 |
| ③ 医療的ケア児のための保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関の協議の場の設置 平成29年度 (2017年度) 実績 吹田市や療育等関係機関連絡会での実績有 | 基盤を整備する | 平成30年度 (2018年度) までに設置 |
| (2) 進捗状況 (Do) | | |
| ①児童発達支援センター 設置済 保育所等訪問支援 3か所 ②主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所 3か所 主に重症心身障害児を支援する放課後等サービス事業所 設置済 ③医療的ケア児のための協議の場 設置済 | | |
| (3) 評価 (Check) | 主に重症心身障がい児を支援する放課後等サービス事業所については、令和元年度 (2019年度) に1事業所増え目標値に達したものの、保育所等訪問支援及び主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所は、目標値に達していません。 | |
| (4) 今後の方向性 (Action) | 保育所等訪問支援及び主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の設置について、施設整備補助事業を活用できることを含め、吹田市障がい児支援事業者等連絡会において周知を図るなど、引き続き障がい児支援の提供体制の整備に努めてまいります。 | |
| 達成度※ | B | |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進捗がであった 「C」目標の達成に向けて進捗が見られなかった

第1期障がい児福祉計画の進捗状況 No.2

| 活動指標 | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
|-------------------------------------|---|--------------------|-------------------|-------------------|
| ・通所系サービス（月当たり利用者数、利用量） | | | | |
| 児童発達支援 | 利用者数 （人） | 見込量 373 | 448 | 537 |
| | | 実績 534 | 637 | |
| 医療型児童発達支援 | 利用量 （人日） | 見込量 3,210 | 3,852 | 4,622 |
| | | 実績 3,444 | 3,994 | |
| 医療型児童発達支援 | 利用者数 （人） | 見込量 63 | 66 | 69 |
| | | 実績 64 | 59 | |
| 放課後等デイサービス | 利用量 （人日） | 見込量 742 | 779 | 818 |
| | | 実績 728 | 689 | |
| 放課後等デイサービス | 利用者数 （人） | 見込量 1,024 | 1,228 | 1,474 |
| | | 実績 1,124 | 1,364 | |
| 放課後等デイサービス | 利用量 （人日） | 見込量 7,738 | 9,285 | 11,142 |
| | | 実績 7,633 | 8,908 | |
| ・訪問系サービス（月当たり訪問回数） | | | | |
| 保育所等訪問支援 | 訪問回数 （回） | 見込量 5 | 7 | 10 |
| | | 実績 9 | 15 | |
| 居宅訪問型児童発達支援 | 訪問回数 （回） | 見込量 3 | 5 | 8 |
| | | 実績 0 | 5 | |
| ・相談支援（月当たり利用者数） | | | | |
| 障がい児相談支援 | 利用者数 （人） | 見込量 150 | 170 | 200 |
| | | 実績 213 | 288 | |
| ・その他 | | | | |
| 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数 | 吹田市域療育等関係機関連絡会において医療的ケア児支援のための協議を行うとともに、平成30年度（2018年度）未までに、関連分野の支援を調整するコーディネーターを少なくとも1名配置します。 （実績） 令和元年度（2019年度）に協議の場を設置し、大阪府の研修を修了したコーディネーター1名を配置しました。 | | | |

第1期障がい児福祉計画の進捗状況 No.3

重点課題

◎ 重点課題 1

療育を必要とする児童の早期発見に向けた取組の推進

(検討項目)

- ・乳児後期（生後10か月頃）を対象とした親子教室の実施
- ・子育て支援コンシェルジュ事業との連携強化
- ・吹田市域療育等関係機関連絡会の有機的な連携

| (進捗状況) | 評価 (Check) | 達成度※ | 今後の方向性 (Action) |
|---|---|------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・乳児後期（生後10か月頃）を対象とした親子教室に、12組の利用がありました。 ・子育て世代を取り巻く現状や支援情報の共有、課題の解決に向けた検討を行うネウホウ連携会議において、支援が必要な親子の情報を共有するなど、連携が図れています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期親子教室において、子育ての不安に寄り添いつつ、「リハビリ専門職との連携により運動面での成長に成果がありました。 ・ネウホウ連携会議構成機関とともに出張相談会を実施しました。 | A | <p>早期発見による支援や出張相談会のような地域支援が、さらに継続した次の支援につながるよう、取組みを推進します。</p> |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった

◎ 重点課題 2

乳幼児期から就学後まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援の提供

(検討項目)

- ・就園・就学児童を対象とした親子教室の充実
- ・児童の成長記録や支援記録等を記載したファイルの活用
- ・保護者を対象とした学習会や支援体制の充実
- ・教育委員会及び吹田市障がい児支援事業者等連絡会等との連携強化

| (進捗状況) | 評価 (Check) | 達成度※ | 今後の方向性 (Action) |
|---|---|------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・就園児対象の親子教室を実施、68組の利用があり、療育、就園指導及び支援を行いました。 ・就学後の児童を対象とした教室を実施、36組の利用があり、主にコミュニケーションの向上に向けた支援を行いました。 ・支援ファイル（発達支援手帳すいすいのーと）については、ホームページ等で周知を図り、利用を促進しています。 ・発達相談における学校連携は、221件ありました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・就園児童を対象とした親子教室においては、親子への支援だけでなく、在籍する園との連携を通して、園生活への適応の促進に成果がありました。 ・学校連携の件数は前年度と大きく変わりましたが、機関連携を通して家庭への支援の促進を図りました。 | A | <p>教育委員会との支援の分担を明確にしつつ、更なる連携を促進します。</p> <p>子どもの支援や対処法を学ぶ保護者対象のペアレントプログラムを実施していきます。</p> |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった

第1期障がい児福祉計画の進捗状況 No. 4

◎ 重点課題 3

医療的ケアが必要な児童の地域支援

(検討項目)

- ・ 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置
- ・ 医療的ケア児の通所支援、訪問型支援の充実

| (進捗状況) | 評価 (Check) | 達成度※ | 今後の方向性 (Action) |
|---|--|------|--|
| わかたけ園の職員が、大阪府が主催する医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了し、資格を取得しました。そのコーディネーターを配置した吹田市域療育等関係機関連絡会において、吹田全体の医療的ケア児の状況を共有しています。 | 医療的ケア児に対する支援を調整するコーディネーターについては、関係機関との役割分担を整理し、周知する必要があります。 | B | コーディネーターの配置を周知し、具体的な支援を行います。また、通所支援、訪問型支援の充実について、吹田市域療育等関係機関連絡会において、協議の場を設け、課題の検討を進め、地域支援を促進します。 |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった

◎ 重点課題 4

児童の発達支援や家族への支援を一体的に提供する相談支援体制の充実・強化

(検討項目)

- ・ 相談支援事業者のコーディネーター機能強化に向けた研修、啓発
- ・ 新たな相談支援事業者の参入促進
- ・ 吹田市療育等関係機関連絡会及び吹田市障がい児支援事業者等連絡会との連携強化

| (進捗状況) | 評価 (Check) | 達成度※ | 今後の方向性 (Action) |
|---|---|------|---|
| 相談支援事業の実施状況は、令和2年(2020年)3月現在で、支給決定対象児童に対し6割となっています。令和元年度(2019年度)から市障がい児支援事業者等連絡会の運営会議に、杉の子学園及びわかたけ園の代表者が参加し、同連絡会との連携強化を図りました。 | 相談支援事業者のコーディネーター機能強化に向けた研修については、市障がい児者計画相談支援事業者連絡会と連携する必要があります。 | B | 市障がい児者計画相談支援事業者連絡会と連携し、研修の実施、関係機関への啓発等、コーディネーター機能強化を促進します。また、市療育支援システムにおいて、相談支援専門員の役割を位置づけ、官民共同による障がい児支援を推進します。 |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.1

1 教育・保育の確保方策の進捗状況 【児童部】 保育幼稚園室

| | 箇所数 (か所) | | 1号認定子ども (人) | | 2号認定子ども (人) | | | | 3号認定子ども (人) | | 評価・課題 | |
|------------|-----------|----|-------------|------|-------------|-----|------|-----|-------------|-----|---|----|
| | 確保策 | 進捗 | 確保策 | 進捗 | 幼稚園利用希望 | | 保育所等 | | 確保策 | 進捗 | | |
| | | | | | 確保策 | 進捗 | 確保策 | 進捗 | | | | |
| 私立保育所等整備 | 18 | 12 | | | | | 771 | 597 | 451 | 364 | <p>【評価】令和元年度（2019年度）中の確保内容としましては、私立保育所3か所（259人）の創設、私立保育所1か所の増改築による定員増（20人）、私立小規模保育事業所1か所（19人）の開設により、合計で298人分の2・3号認定の定員枠を新たに確保しました。</p> <p>待機児童数については、平成31年（2019年）4月の22人から令和2年（2020年）4月の16人に減少させることができました。</p> <p>【課題】平成28年（2016年）4月1日に発生した多くの待機児童の早急解消のため策定した「待機児童解消アクションプラン」により、各種の対策を実施しましたが、保育所等待機児童の解消には至りませんでした。令和2年度（2020年度）からの次期子ども・子育て支援事業計画において、保育所整備と保育の質の確保に取り組んでいきます。</p> | |
| 小規模保育事業施設等 | 32 | 31 | | | | | | | 516 | 520 | | |
| 認定こども園への移行 | 既存保育所 | 7 | 8 | 78 | 84 | | | 10 | 10 | | | |
| | 既存幼稚園 | 9 | 9 | △732 | △722 | 420 | 420 | | | 19 | | 20 |
| | 既存幼稚園・保育所 | 1 | 1 | △5 | △5 | | | | | | | |
| 長時間保育 | 既存幼稚園 | 2 | 2 | △132 | △210 | 132 | 210 | | | | | |
| 定員変更 | 既存保育所 | 5 | 3 | | | | | 71 | 35 | 59 | | 15 |
| | 既存幼稚園 | 1 | 1 | △65 | △65 | | | | | | | |
| 認可外保育施設移行 | 3 | 3 | | | | | | | △28 | △28 | | |
| 計 | | | △856 | △918 | 552 | 630 | 852 | 642 | 1,017 | 891 | | |

2 地域子ども・子育て支援事業の実施状況

| | | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|----------------|--|-----|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---|
| (1) 利用者支援事業 | 【児童部】 のびのび子育て プラザ 保育幼稚園室 【健康医療部】 保健センター | 施設数 | 量の見込み (か所) | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | <p>【評価】基本型1か所、特定型1か所、母子保健型2か所を設置する目標を達成し、保護者への子育て等に係る情報提供や必要に応じた相談・助言等を行うとともに、関係機関等との連絡調整を図りました。</p> <p>【課題】保護者への適切な情報提供や支援が行えるよう情報収集等に努めるとともに、関係機関や関係部局との連携や情報交換を進め、吹田版ネウボラのさらなる充実を図っていく必要があります。また、「母子保健型」では、妊娠届出時における保健師等による妊婦への全数面接を実施しており、特に妊娠期からの情報提供や相談支援に努めます。</p> |
| | | | 実績 (か所) | 0 | 3 | 4 | 4 | 4 | |

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.2

| | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|---|-----------|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---|
| (2) 地域子育て支援拠点 事業 【児童部】 子育て支援課 (現所管：子育て政策室) のびのび子育て プラザ 保育幼稚園室 | 計画 | 量の見込み (人日) | 22,160 | 21,565 | 21,131 | 23,749 | 23,195 | 【評価】在宅での子育て中の親子を対象にした育児教室や子育て相談、サークル活動支援等を通じて、仲間づくりや子育ての悩みの軽減、虐待の予防につながるなど地域の子育て支援拠点施設として機能することができました。 【課題】今後も現状の提供量を維持しながら、市民ニーズに注視し内容の充実に努めます。 |
| | | 提供量 (人日) | 117,372 | 117,372 | 117,372 | 124,801 | 124,801 | |
| | 利用実績 (人日) | 124,602 | 124,801 | 127,842 | 122,383 | 96,947 | | |
| (3) 妊婦健康診査 【健康医療部】 保健センター | 人数 | 量の見込み (人) | 2,937 | 2,875 | 2,828 | 3,282 | 3,177 | 【評価】妊娠届出時の妊婦への面接で妊婦健診の必要性を説明し、受診勧奨を行いました。妊婦の健康管理や、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の実施に向け、協力医療機関と連携し、支援に努めました。 【課題】妊婦健診の未受診や妊娠中に必要な保健指導や治療を受けないなどのハイリスク妊婦を把握し、適切な支援を行うために、関係機関や医療機関との連携の強化が必要です。 妊婦健診の公費助成額に関しては、妊婦の経済的負担を軽減するような検討が必要です。 |
| | | 実績 (人) | 3,493 | 3,462 | 3,235 | 3,173 | 3,004 | |
| | 回数 | 量の見込み (回) | 41,118 | 40,250 | 39,592 | 45,948 | 44,478 | |
| | | 実績 (回) | 43,106 | 42,195 | 41,251 | 39,524 | 37,533 | |
| (4) 乳児家庭全戸訪問事業 【児童部】 家庭児童相談課 | 面接 | 量の見込み (人) | 2,937 | 2,875 | 2,828 | 3,282 | 3,177 | 【評価】民生・児童委員、主任児童委員等が各家庭を個別に訪問し、子育てに関する相談や情報提供、乳児及び保護者の心身の様子や養育環境の把握を行いました。また事業を通し、地域での見守りや子育てを支援することで、孤立を防ぎ虐待予防にもつながっています。 【課題】令和元年度(2019年度)より、家庭訪問における事前の日程調整や不在家庭への再訪問を行う職員を配置し、面談率の向上に取り組んでいますが、さらなる面談率の向上と、不在の家庭へのフォロー方策について検討が必要です。 |
| | | 実績 (人) | 1,972 | 1,948 | 1,844 | 1,810 | 1,637 | |

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.3

| | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|--|-----------|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--|
| (5-1) 養育支援訪問事業 【健康医療部】 保健センター 【児童部】 家庭児童相談課 | 訪問 | 量の見込み (人) | 375 | 375 | 375 | 441 | 441 | <p>【評価】若年の妊産婦や産後うつ、虐待のおそれがあるなど、養育上の困難を抱える家庭や、乳幼児健診未受診児に対し、保健師が訪問を行い、継続的な支援を実施しています。</p> <p>平成28年度(2016年度)から妊娠届出時の妊婦の全数面接を実施しており、妊娠期から支援の必要な妊婦の早期把握と、妊娠期からの訪問の充実に努めています。</p> <p>また、子供の養育に不安を抱える家庭を育児支援家庭訪問員が訪問し、直接支援や助言を行うことで、育児ストレスの軽減やスキルの向上、虐待の未然防止が図られています。</p> <p>【課題】支援を必要としている家庭を把握するため、関係機関との連携に努めるとともに、養育者の多様なニーズに対応していくため、研修や報告会等を活用し、専門性を高める必要があります。</p> |
| | | 実績 (人) | 427 | 441 | 541 | 892 | 976 | |
| (5-2) 子どもを守る地域 ネットワーク機能強化事業 【児童部】 家庭児童相談課 | 代表者会議 | (回) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | <p>【評価】児童虐待に関する相談や通告への対応を行うとともに、児童虐待防止ネットワーク会議の事務局として関係機関と連携し、支援方針の検討や役割分担を行い、児童虐待の改善や重症化防止を図っています。また児童虐待防止推進月間の11月に講演会を開催するなど、啓発活動にも取り組んでいます。</p> <p>【課題】児童虐待に関する相談件数は年々増加し、さらに様々な課題が複雑に絡み合っているため、児童虐待防止ネットワーク会議を通して関係機関との連携をより一層強化するとともに、専門職員の配置や研修を通して相談員のスキル向上を図るなど、相談体制の強化・見直しが必要です。</p> |
| | 実務者会議 | (回) | 24 | 24 | 24 | 28 | 25 | |
| | 個別ケース検討会議 | (回) | 124 | 128 | 130 | 130 | 77 | |
| | 講演会 | (回) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.4

| | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|---|------------------|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---|
| (6) 子育て短期支援事業 【児童部】 家庭児童相談課 | ショート ステイ | 量の見込み (人日) | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 【評価】保護者の疾病や仕事などの緊急時だけでなく、レスパイトとしても利用希望があり、育児負担の軽減や虐待予防に寄与しています。 【課題】本事業の利用にあたっては施設の空き状況等によって、利用が困難なことがあるため、他のサービス利用等を含めた検討をする必要があります。 |
| | | 実績 (人日) | 39 | 51 | 66 | 40 | 10 | |
| | トワイ ライト | 量の見込み (人日) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 実績 (人日) | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | |
| (7) ファミリー・サポ ート・センター事業 【児童部】 のびのび子育て プラザ | 就学前 児童 | 量の見込み (人日) | - | - | 3,571 | 3,169 | 3,169 | 【評価】3年ごとの会員の更新を行うことで会員数は減少しましたが、広報活動を進め、出張による入会講習会を開催したことで、会員数の維持に努めました。 【課題】積極的に広報活動を行うとともに引き続き出張での講習会を開催し、援助会員の拡大につなげます。また、入会后、早く援助活動が始められるように必須講座の受講方法等の検討を進めます。 |
| | | 実績 (人日) | 3,339 | 3,169 | 2,956 | 2,913 | 3,186 | |
| | 就学 児童 | 量の見込み (人日) | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 1,695 | 1,695 | |
| | | 実績 (人日) | 2,047 | 1,695 | 1,313 | 1,135 | 983 | |
| (8) 一時預かり事業 (幼 稚園) 【児童部】 保育幼稚園室 | 計 画 | 量の見込み (人日) | 268,388 | 269,789 | 271,935 | 179,293 | 172,397 | 【評価】公立幼稚園7か所、公立認定こども園9か所、私立認定こども園2か所で実施しました。本事業は、子育て世帯の就業支援及び育児負担の軽減等につながっています。 【課題】多様化する保育ニーズを受け、今後も本事業の重要性は一層高まるものと予想されます。さらに多くの市民が利用できるよう実施施設数を増やすなど、提供量を確保するため、引き続き事業の充実に努めます。 |
| | | 提供量 (人日) | 114,600 | 171,900 | 272,601 | 172,704 | 172,704 | |
| | 利用実績 (人日) | | 14,608 | 15,776 | 17,623 | 16,841 | 17,304 | |
| | 年間の一時預かり実施日数 (日) | | 100 | 150 | 235 | 229 | 236 | |
| | 実施箇所 (か所) | | 17 | 19 | 19 | 19 | 18 | |

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.5

| | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|--|------------------|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--|
| (8) 一時預かり事業（幼稚園以外） 【児童部】 子育て支援課 (現所管：子育て政策室) のびのび子育て プラザ 保育幼稚園室 | 計画 | 量の見込み (人日) | 22,394 | 21,378 | 20,885 | 21,202 | 21,075 | 【評価】平成29年（2017年）12月から開始した豊一児童センター一時預かり事業は年々利用率を伸ばし、子育て世帯のリフレッシュ等に寄与しています。 のびのび子育てプラザでは、より多くの市民が利用できるよう予約方法等の見直しと、新規の人が利用しやすいように工夫をし、定員に対する予約率は9割を超えています。本事業は、子育て世帯の就業支援及び育児負担の軽減等につながっています。 【課題】多様化する保育ニーズを受け、今後も本事業の重要性は一層高まるものと予想されます。さらに多くの市民が利用できるよう実施施設数を増やすなど、提供量を確保するため、引き続き事業の充実に努めます。 |
| | | 提供量 (人日) | 14,213 | 15,303 | 18,083 | 12,718 | 14,198 | |
| | 利用実績 (人日) | | 9,162 | 8,869 | 9,830 | 10,607 | 10,556 | |
| | 実施箇所 (か所) | | 11 | 12 | 16 | 16 | 16 | |
| (9) 延長保育事業 【児童部】 保育幼稚園室 | 計画 | 量の見込み (人) | 3,511 | 3,524 | 3,519 | 3,765 | 3,809 | 【評価】保育所46か所・認定こども園12か所・小規模保育施設43か所の計101か所のうち、私立保育所12か所・私立認定こども園2か所・私立小規模保育施設7か所の計21か所で30分延長を、公立保育所14か所・公立認定こども園1か所・公立小規模保育施設1か所・私立保育所17か所・私立認定こども園9か所の計42か所で1時間延長を、私立保育所2か所で2時間以上の延長保育を実施しました。 【課題】小規模保育施設については、利用人数が少なく、延長保育事業を実施しても経費に見合った補助金の受給が困難なことから、延長保育事業の実施に消極的な施設が多くあります。今後は、保育ニーズの実態を踏まえ、延長保育の実施を事業者に求めていく必要があります。 |
| | | 提供量 (人) | 3,306 | 4,020 | 4,535 | 4,037 | 4,550 | |
| | 実績 (人) | | 3,675 | 3,504 | 3,213 | 3,441 | 3,801 | |
| | | | (人日) | 172,635 | 173,301 | 182,946 | 208,932 | |
| | 30分延長 施設数 (か所) | | 7 | 7 | 7 | 19 | 21 | |
| | 1時間延長 施設数 (か所) | | 39 | 39 | 41 | 41 | 42 | |
| | 2時間以上延長 施設数 (か所) | | 4 | 4 | 4 | 2 | 2 | |

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.6

| | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|--|----|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--|
| (10) 病児保育事業 病児・病後児対応型 【児童部】 保育幼稚園室 | 計画 | 量の見込み (人日) | 5,921 | 5,825 | 5,780 | 6,179 | 6,940 | 【評価】平成31年(2019年)1月に見直した子ども・子育て支援事業計画に基づき、令和元年度(2019年度)中に新たに3か所整備し、合計6か所で実施しました。事業の周知も進み、利用者は年間3,000人を超えています。 【課題】市民ニーズの高まりを受け、令和2年度(2020年度)以降、利用対象年齢を小学校1年生まで拡大するとともに、病児・病後児保育室予約システムを構築し、より市民の利便性の向上を図ります。 |
| | | 提供量 (人日) | 3,600 | 4,800 | 6,000 | 6,000 | 6,500 | |
| | | 提供体制 (か所) | 3 | 4 | 5 | 5 | 6 | |
| | 実績 | 利用実績 (人日) | 2,408 | 3,320 | 3,486 | 3,231 | 3,346 | |
| | | 定員 (人日) | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 4,100 | 5,939 | |
| | | 提供体制 (か所) | 3 | 3 | 3 | 3 | 6 | |
| (10) 病児保育事業 体調不良児対応型 【児童部】 保育幼稚園室 | 計画 | 量の見込み (人日) | 11,120 | 11,360 | 12,320 | 11,446 | 11,268 | 【評価】公立保育所14か所、公立認定こども園1か所、私立保育所15か所、私立認定こども園6か所、私立小規模保育施設3か所で実施しました。 【課題】看護師人材の確保が困難な状況にあり、また、確保後の育成についても効果的な方策を検討していく必要があります。 |
| | | 提供量 (人日) | 5,360 | 5,600 | 6,800 | 6,407 | 7,991 | |
| | | 提供体制 (か所) | 22 | 23 | 28 | 38 | 47 | |
| | 実績 | 利用実績 (人日) | 5,168 | 6,112 | 6,064 | 7,691 | 6,189 | |
| | | 定員 (人日) | 5,168 | 6,112 | 6,064 | 7,691 | 6,099 | |
| | | 提供体制 (か所) | 23 | 25 | 30 | 34 | 39 | |

第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 No.7

| | | | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 評価・課題 |
|---|--|-------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------------|---|
| (11) 放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業) 【地域教育部】 放課後子ども育成課 | 計画 | 量の見込み | (人) | 3,394 | 3,440 | 3,685 | 4,145 | 4,517 | 【評価】保育の担い手を確保するため、平成30年度(2018年度)から準備を進めていた吹六留守家庭児童育成室の業務委託を平成31年(2019年)4月から実施できました。また、令和元年度(2019年度)は新たに令和2年度(2020年度)から山手留守家庭児童育成室を業務委託できるよう準備を進め、児童の健全育成を図りました。 【課題】想定を超える利用児童数の増加もあり施設・指導員の人材確保や育成が困難となっているため、当分の間は4年生までの受入に専念し、5年生・6年生までの拡大は延期することとしました。高学年の放課後の居場所について、総合的な検討が必要です。今後安定的な育成室運営を行いつつ、対象学年の更なる拡大や開室時間の延長等の社会的ニーズに対応していくためには、施設整備・指導員確保に努めると同時に、民間事業者への運営業務委託を着実に進めていく必要があります。 |
| | | 提供体制 | (人) | 2,329 | 2,379 | 3,236 | 3,655 | 3,990 | |
| | 実績 | 利用実績 | (人) | 2,346 | 2,556 | 2,970 | 3,243 | 3,528 | |
| | | 定員 | (人) | 3,105 | 3,273 | 3,498 | 3,757 | 3,995 | |
| | 留守家庭児童育成室の運営業務委託 | | | | 千里丘北育成室 | 山三育成室、青山台育成室 | 千里たけみ育成室 | 佐井寺育成室、山五育成室、北山田育成室、藤白台育成室、桃山台育成室 | |
| 評価・課題 | | | | | | | | | |
| (12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業 【児童部】 保育幼稚園室 | 【評価】令和元年(2019年)10月からの幼児教育・保育の無償化により、給食費が無償化の対象外とされたことによる新規事業です。副食費が対象ですが、令和元年度(2019年度)に限り、経過措置として市単独事業により主食費を補助しました。補助対象者468人。 【課題】吹田市では新制度未移行幼稚園の児童が多数のため、対象者の抽出を吹田市で行い、通知しています。そのため、対象者の正確・迅速な抽出が課題となります。 | | | | | | | | |
| (13) 多様な主体の参入促進事業 【児童部】 保育幼稚園室 | 【評価】保育内容や保護者対応等の相談・助言を通して、質の高い保育を提供することに寄与することができました。 【課題】引き続き質の高い保育を提供するため、今後も継続的な巡回を行っていく必要があります。 | | | | | | | | |

子ども見守り家庭訪問事業の概要

1 事業内容

| | |
|------|--|
| 【目的】 | 子育ての孤立化を防ぎ、支援が必要な家庭を適切なサービスに結びつける。 |
| 【内容】 | 民生・児童委員、主任児童委員等が市内の生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育てに関する相談や情報提供、乳児及び保護者の心身の様子や養育環境の把握を行う。 |
| 【対象】 | 市内の生後4か月までの乳児のいる全ての家庭 |

2 訪問実績（過去5年間）

| | 訪問数 (単位：人) (A) | 面談数 (単位：人) (B) | 不在 (単位：人) ※連絡票未提出含む (C)=(A)-(B) | 面談できた割合 (D)=(B)/(A) |
|----------------|----------------------|----------------------|--|------------------------|
| 平成27年度（2015年度） | 3,451 | 1,972 | 1,479 | 57.1% |
| 平成28年度（2016年度） | 3,427 | 1,948 | 1,479 | 56.8% |
| 平成29年度（2017年度） | 3,208 | 1,844 | 1,364 | 57.5% |
| 平成30年度（2018年度） | 3,208 | 1,810 | 1,398 | 56.4% |
| 令和元年度（2019年度） | 2,942 | 1,637 | 1,305 | 55.6% |

※人数は新生児の数（きょうだいも各1人としてカウントしています。）

※各年度の対象児童は4月（2月出生分）～3月（1月出生分）としています。

児童虐待対応件数の推移（過去5年間）

（単位：件）

| 年度 | 児童虐待 相談件数 (延べ件数) | 種 類 別 等 内 訳 | | | | | |
|--------------------|------------------------|-------------|-----|-----------|-----|-------------|-----|
| | | 種別 | | 経路別 | | 対応別 | |
| 平成27年度 (2015年度) | 862 | 身体的虐待 | 205 | 子ども家庭センター | 545 | 要保護児童等として対応 | 534 |
| | | 性的虐待 | 8 | 関係機関 | 227 | | |
| | | 心理的虐待 | 530 | 近隣、地域 | 90 | 相談、助言 | 328 |
| | | ネグレクト | 119 | - | - | | |
| 平成28年度 (2016年度) | 869 | 身体的虐待 | 238 | 子ども家庭センター | 528 | 要保護児童等として対応 | 575 |
| | | 性的虐待 | 8 | 関係機関 | 255 | | |
| | | 心理的虐待 | 430 | 近隣、地域 | 86 | 相談、助言 | 294 |
| | | ネグレクト | 193 | - | - | | |
| 平成29年度 (2017年度) | 990 | 身体的虐待 | 249 | 子ども家庭センター | 500 | 要保護児童等として対応 | 751 |
| | | 性的虐待 | 0 | 関係機関 | 382 | | |
| | | 心理的虐待 | 515 | 近隣、地域 | 108 | 相談、助言 | 239 |
| | | ネグレクト | 226 | - | - | | |
| 平成30年度 (2018年度) | 1,212 | 身体的虐待 | 335 | 子ども家庭センター | 748 | 要保護児童等として対応 | 818 |
| | | 性的虐待 | 6 | 関係機関 | 354 | | |
| | | 心理的虐待 | 646 | 近隣、地域 | 110 | 相談、助言 | 394 |
| | | ネグレクト | 225 | - | - | | |
| 令和元年度 (2019年度) | 1,321 | 身体的虐待 | 333 | 子ども家庭センター | 821 | 要保護児童等として対応 | 806 |
| | | 性的虐待 | 9 | 関係機関 | 380 | | |
| | | 心理的虐待 | 717 | 近隣、地域 | 120 | 相談、助言 | 515 |
| | | ネグレクト | 262 | - | - | | |

※ 表中の「要保護児童等」には、要支援児童を含みます。

「要支援児童」とは、不適切な養育問題があり、事態が深刻化すれば虐待に及ぶ可能性のある家庭の児童のことを言います。

親支援プログラム事業の概要及び実施状況（過去5年間）

1 事業内容

| | |
|------|---|
| 【目的】 | 系統的で具体的な子育ての連続講座を開催し、親が子供への接し方や子育てのスキルを身につけ、親自身が子供の問題行動に対応し困難な局面において解決していく力を培うことで、子育てに自信を持ち、楽しく前向きに取り組めるよう支援する。 |
| 【内容】 | 「ペアレンティングプログラム・トリプルP」 オーストラリアで開発された親向けの参加体験型の全7回の学習プログラムで、親子のコミュニケーション、子供の問題行動への対処法や考え方、具体的なスキルを学ぶことで、子育ての知識とスキルの不足を解消し、親自身が自らの子育ての問題の解決を図る。 |
| 【対象】 | 2歳から12歳までの子供を持つ親 |
| 【定員】 | 概ね24名程度 |

2 実施状況（過去5年間）

単位：人

| | 申込者数 | 受講者数 | プログラム修了者数 |
|----------------|------|------|-----------|
| 平成27年度（2015年度） | 24 | 21 | 18 |
| 平成28年度（2016年度） | 25 | 20 | 19 |
| 平成29年度（2017年度） | 23 | 17 | 17 |
| 平成30年度（2018年度） | 35 | 24 | 24 |
| 令和元年度（2019年度） | 29 | 27 | 26 |

令和元年度（2019年度）子育て支援コンシェルジュ事業の相談件数・内容

【基本型】

（単位：件）

| 相談内容 | 基本的な生活習慣 （離乳食含） | 発育・発達 （言葉・情緒含） | 幼稚園・保育園 の入園相談 | その他 | 合計 |
|------|--------------------|-------------------|------------------|-----|-------|
| 来館相談 | 195 | 129 | 318 | 88 | 730 |
| 電話相談 | 109 | 100 | 74 | 167 | 450 |
| 出張相談 | 27 | 26 | 47 | 8 | 108 |
| 合計 | 331 | 255 | 439 | 263 | 1,288 |

*基本型は、のびのび子育てプラザに設置され、広く子育て支援全般に係る相談・助言等を行う。

*出張相談件数には高野台のびのびルームでの相談を含む。

*その他の相談の主な内容

小学生以上の子の相談、家族や地域の事、しつけや教育について等

【特定型】

（単位：件）

| 相談内容 | 入所相談（保育所等） | 入所相談（幼稚園） | 認定・保育料関係 | その他 | 合計 |
|------|------------|-----------|----------|-----|-------|
| 来室相談 | 1,808 | 131 | 821 | 77 | 2,837 |

*特定型は、保育幼稚園室に設置され、主に教育・保育施設の利用に関する相談・助言を行う。

*その他の相談の主な内容

一時預かり等の子育て支援施策に関する相談等

児童部保育幼稚園室

過去2年間の病児・病後児保育室の利用実績

(単位：人)

| | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) |
|-----|--------------------|-------------------|
| 4月 | 249 | 284 |
| 5月 | 238 | 298 |
| 6月 | 337 | 311 |
| 7月 | 339 | 329 |
| 8月 | 273 | 277 |
| 9月 | 270 | 312 |
| 10月 | 281 | 258 |
| 11月 | 246 | 246 |
| 12月 | 235 | 303 |
| 1月 | 296 | 295 |
| 2月 | 251 | 267 |
| 3月 | 216 | 166 |
| 合計 | 3,231 | 3,346 |

令和元年度（2019年度） 児童発達外来の利用実績

(単位：件)

| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|----------|---|-----|-----|----|----|----|
| 保護者相談 | | - | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| スーパービジョン | | - | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 内容 | 保護者相談 | <ul style="list-style-type: none"> ・服薬の必要性について ・児の養育について ・診断の可能性やその基準について | | | | | |
| | スーパービジョン | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい特性について ・母への支援について ・服薬の効用について | | | | | |
| 評価 | | <p>10月は児童発達外来の開設にあたり、担当医師と専門職員（発達指導員）とのオリエンテーションを行い、11月から相談を開始しました（第2火曜日 13時30分～16時30分）。</p> <p>保護者相談では、1ケースにつき1時間程度、発達障がいに係る医学的な見地からの助言や説明、情報提供等を行うことにより、服薬や医療機関受診の必要性、我が子の障がい特性のとらえ方やその養育について、保護者の理解を深めることができました。</p> <p>職員に対するスーパービジョンでは、地域支援センターの相談機能の向上と、発達相談や親子教室における児童の障がい特性を踏まえた保護者支援のあり方について、医学的な見地からの助言をもとに、支援の充実を図ることができました。</p> | | | | | |

福祉部資料

| 部 名 | ペー ジ 番 号 | 資 料 名 | 要求委員名 | | | |
|-----|-------------------|---|-------|--|--|--|
| | | | | | | |
| 福 祉 | 1 | 令和元年度(2019年度) 福祉避難所数及び福祉避難所運営マニュアルの策定状況 | 坂口 | | | |
| 福 祉 | 2 | 中国残留邦人生活支援事業の概要 | 西岡 | | | |
| 福 祉 | 3 | 生活困窮者に対する就労支援の近隣市の取組状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 4 | 社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定状況及び避難訓練の実施状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 5 | 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定状況及び避難訓練の実施状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 6 | 公益社団法人吹田市シルバー人材センター運営補助事業 | 西岡 | | | |
| 福 祉 | 7～12 | 第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 13 | 令和元年度(2019年度) 地区敬老行事運営委員会の主な構成団体(民生・児童委員協議会を除く) | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 14～16 | 吹田市民はつらつ元気大作戦の実績(平成29年度(2017年度)～令和元年度(2019年度)) | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 17～18 | 令和元年度(2019年度) 介護人材確保に係る事業実績一覧 | 矢野 | | | |
| 福 祉 | 19 | 令和元年度(2019年度) 高齢者いこいの間管理運営事業 | 矢野 | | | |
| 福 祉 | 20 | 令和元年度(2019年度) 高齢者フレイル等予防推進事業実績 | 矢野 | | | |
| 福 祉 | 21～32 | 第5期障がい福祉計画の進捗状況 | 馬場 | | | |
| 福 祉 | 33～34 | 国保連合会委託事務事業の事業内容及び事業費増加の内訳 | 矢野 | | | |

令和元年度(2019年度)福祉避難所数及び福祉避難所運営マニュアルの策定状況

(令和2年(2020年)3月31日現在)

| No. | 施設名 | マニュアル策定状況 | No. | 施設名 | マニュアル策定状況 |
|-----|----------------------|-----------|------------------------------------|-------------------------|-----------|
| 1 | 総合福祉会館 | 策定済み | 16 | 介護老人福祉施設 ちくりんの里 | 策定済み |
| 2 | 障害者支援交流センター(あいほうぶ吹田) | 策定済み | 17 | 特別養護老人ホーム 青藍荘 | 策定済み |
| 3 | 内本町デイサービスセンター | 策定済み | 18 | 特別養護老人ホーム 緑風会イサベル | 策定済み |
| 4 | 亥の子谷デイサービスセンター | 策定済み | 19 | 吹田特別養護老人ホーム 高寿園 | 策定済み |
| 5 | 吹田市介護老人保健施設 | 策定済み | 20 | 地域密着型特別養護老人ホーム 憩～江坂～ | 策定済み |
| 6 | 藤白台デイサービスセンター | 策定済み | 21 | 特別養護老人ホーム スローライフ千里 | 策定済み |
| * 7 | 千里山西デイサービスセンター | 策定中 | 22 | 特別養護老人ホーム サラージュ南吹田 | 策定済み |
| 8 | 岸部中グループホーム | 策定済み | 23 | 地域密着型特別養護老人ホーム メヌホット千里丘 | 策定済み |
| 9 | 特別養護老人ホーム いのこの里 | 策定済み | 24 | 介護老人保健施設 吹田徳洲苑 | 策定済み |
| 10 | グループホーム たんぽぽ | 策定済み | 25 | 介護老人保健施設 つくも | 策定済み |
| 11 | 介護老人福祉施設 吹田竜ヶ池ホーム | 策定済み | 26 | 介護老人保健施設 千里 | 策定済み |
| 12 | 特別養護老人ホーム みらい | 策定済み | 27 | 地域密着型特別養護老人ホーム 離宮千里山・縁 | 策定済み |
| 13 | 特別養護老人ホーム ハピネスさんあい | 策定済み | 28 | くらしの支援センター みんなのき | 策定済み |
| 14 | 特別養護老人ホーム あす～る吹田 | 策定済み | 29 | 救護施設 千里寮 | 策定済み |
| 15 | 特別養護老人ホーム 寿楽荘 | 策定済み | * No.7千里山西デイサービスセンターは令和2年7月15日策定済み | | |

中国残留邦人生活支援事業の概要

1 経緯と趣旨

「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」に基づき、平成20年（2008年）4月1日から実施。

今次の大戦に起因して生じた混乱等により本邦に引き揚げることができず、引き続き本邦以外の地域に居住することを余儀なくされた中国残留邦人等及びそのような境遇にあった中国残留邦人等と長年にわたり労苦を共にしてきた特定配偶者の置かれている事情に鑑み、中国残留邦人等の円滑な帰国を促進するとともに、永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援を行う。

2 支援給付の実施

「生活保護法」第8条第1項の基準により算出した額に比して不足するものに対して、その不足する範囲内において行う。ただし対象となる者に支給される老齢基礎年金については収入として認定しない。（国庫負担額は4分の3）

3 支援給付の種類

生活支援給付＝生活保護の生活扶助（毎日の生活に必要な食費、衣類購入費用、光熱水費などの費用）

住宅支援給付＝生活保護の住宅扶助（毎月の家賃）

医療支援給付＝生活保護の医療扶助（医療費）

介護支援給付＝生活保護の介護扶助（介護保険の給付対象となるサービスを受けるために必要な費用）

その他政令で定める給付（葬祭費用など）

4 配偶者支援金

支援給付を受けている中国残留邦人等が死亡した場合、一定の条件を満たす特定配偶者に対して、「生活保護法」第8条第1項の基準により算出した額に比して継続して不足するときに支援給付を行う。

生活困窮者に対する就労支援の近隣市の取組状況

北摂7市における令和元年度(2019年度)就労準備支援事業の状況

| | 吹田市 | 茨木市 | 高槻市 | 摂津市 | 池田市 | 豊中市 | 箕面市 |
|---------------|---|---|---|---|-----|--|----------------------------------|
| 委託先 | (社福)みなと寮 | 【一部直営】 (社福)ほぼんがぼん | 【直営】 | 大阪府広域就労支援事業 有限責任事業組合大阪職業教育共働機構 (A'ワーク) | | 【一部直営】 ・6事業者(生活困窮者) ・5事業者(被保護者) | (社福)箕面市社会 福祉協議会 |
| 職員体制 | 就労準備支援員3人 | ・サポーター4人 ・事務員(会計年度職員) 4人【市】 | 就労準備支援員 (会計年度職員) 1人【市】 | 就労準備支援員1人、開拓担当1人、 事務員1人 11自治体を分担 | | ・委託先で人数は異なる ・就労準備支援員 3人【市】 | 自立相談支援事業の 相談員5人が就労支 援員を兼務 |
| 実施場所 | マンションの一室 救護施設 公園等 | 市役所内 | 就労体験受入事業所 | 大阪府内を基本とした就労体験受入事業所 | | 委託先事業所 | 委託先事業所 |
| 利用者 | 22人 | 36人 | 51人 | 9人 | 2人 | 72人 | 42人 |
| 庁内職場実習 の有無 | 無 | 有 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 |
| 特 徴 | 就労準備支援事業は、生活 保護受給者や、就労までに時 間のかかる方が多い。利用 者は畑作業や内職、グルー プワーク、就労体験などの継続 的な支援を通じて、生活や社 会の基礎的な力を付けて、次 の就労訓練事業や、最終的に は就労することを目指してい る。 | 就労準備支援事業として、庁 内職場実習とスマイルオフィス を実施している。 庁内職場実習は職場体験、 スマイルオフィスは最長6か 月の期間を定めて会計年度職 員として雇用する。希望者 にはその後の支援も実施し ている。 | 就労準備支援員が、 利用者に応じて受入事 業所の就労体験につ ながっている。 | 就労準備支援事業は、受入事業所の開拓と、 利用希望者の個別支援を実施している。 受入事業所では農業などを体験することができ る。また、定期的に職業体験会を実施している。 | | 被保護者、生活困窮者 それぞれ複数の委託先に 実施している。 就労準備委支援事業は 社会参加状況の段階に応 じてプログラムを作成し ている。 | 委託事業者の事業を 中心に職場体験を実施 している。 |

社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定状況及び避難訓練の実施状況

平成31年（2019年）3月31日時点

| 施設種別 | 市内の施設数 | 回答施設数 | 非常災害対策計画の作成状況 | | 避難訓練の実施状況 | | |
|-----------|--------------------|-------|---------------|-----|-----------|-----|----|
| | | | 作成 | 未作成 | 実施 | 未実施 | |
| 高齢者福祉施設 | 地域密着型特別養護老人ホーム | 6 | 6 | 5 | 1 | 5 | 1 |
| | 有料老人ホーム | 26 | 26 | 23 | 3 | 26 | 0 |
| | 認知症対応型共同生活介護事業所 | 17 | 17 | 16 | 1 | 15 | 2 |
| | 小規模多機能型居宅介護事業所 | 7 | 7 | 7 | 0 | 6 | 1 |
| | 短期入所生活介護事業所 | 20 | 20 | 17 | 3 | 18 | 2 |
| | 通所介護事業所 | 99 | 99 | 78 | 21 | 86 | 13 |
| | 認知症対応型通所介護事業所 | 10 | 10 | 10 | 0 | 9 | 1 |
| 障がい者福祉施設等 | 障がい者支援施設（入所施設） | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 |
| | 通所型障がい福祉サービス事業所 | 79 | 73 | 31 | 42 | 67 | 6 |
| | 短期入所 | 7 | 7 | 6 | 1 | 7 | 0 |
| | 共同生活援助（グループホーム） | 24 | 16 | 8 | 8 | 13 | 3 |
| | 障がい児通所支援事業所 | 71 | 65 | 49 | 16 | 54 | 11 |
| 児童福祉施設 | 保育所 | 43 | 38 | 29 | 9 | 38 | 0 |
| | 小規模・事業所内保育事業所 | 42 | 36 | 25 | 11 | 36 | 0 |
| | 認可外保育施設 | 33 | 33 | 24 | 9 | 31 | 2 |
| | 幼保連携型認定こども園 | 12 | 7 | 6 | 1 | 7 | 0 |
| | 児童厚生施設（児童館・児童センター） | 12 | 12 | 12 | 0 | 12 | 0 |

要配慮者利用施設における避難確保計画の策定状況及び避難訓練の実施状況

平成31年（2019年）3月31日時点

| 施設種別 | 市内の施設数 (総数) | 該当施設数 (総数) | 避難確保計画の作成状況 | | 避難訓練の実施状況 | | |
|-----------|--------------------|---------------|-------------|-----|-----------|-----|----|
| | | | 作成 | 未作成 | 実施 | 未実施 | |
| 高齢者福祉施設 | 地域密着型特別養護老人ホーム | 6 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | 有料老人ホーム | 26 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | 認知症対応型共同生活介護事業所 | 17 | 9 | 2 | 7 | 2 | 7 |
| | 小規模多機能型居宅介護事業所 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 短期入所生活介護事業所 | 20 | 3 | 3 | 0 | 3 | 0 |
| | 通所介護事業所 | 99 | 37 | 5 | 32 | 10 | 27 |
| | 認知症対応型通所介護事業所 | 10 | 5 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| 障がい者福祉施設等 | 障がい者支援施設（入所施設） | 2 | 0 | — | — | — | — |
| | 通所型障がい福祉サービス事業所 | 79 | 30 | 11 | 19 | 5 | 25 |
| | 短期入所 | 7 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | 共同生活援助（グループホーム） | 24 | 8 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| | 障がい児通所支援事業所 | 71 | 27 | 1 | 26 | 1 | 26 |
| 児童福祉施設 | 保育所 | 43 | 8 | 4 | 4 | 5 | 3 |
| | 小規模・事業所内保育事業所 | 42 | 4 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | 認可外保育施設 | 33 | 11 | 5 | 6 | 0 | 11 |
| | 幼保連携型認定こども園 | 12 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 児童厚生施設（児童館・児童センター） | 12 | 4 | 4 | 0 | 0 | 4 |

公益社団法人吹田市シルバー人材センター運営補助事業

| | |
|--------|--|
| 事業開始年度 | 昭和55年度（1980年度） |
| 根拠法令等 | 公益社団法人吹田市シルバー人材センター運営補助金交付要領 |
| 目的 | 公益社団法人吹田市シルバー人材センター運営補助金を交付することにより、センターの円滑な運営を促進し、高齢者の生きがいと福祉の増進に資することを目的とする。 |
| 補助対象経費 | 1 センターの円滑な事業運営のために必要な人件費 2 その他事業の目的を達成するために必要な基本運営費 |
| 事業内容 | 市内に居住する60歳以上の定年退職後等の高齢者に対して、就業の機会を確保する事業を行う同センターの活動に必要な人件費及び基本運営費（通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、賃借料、保険料、諸謝金、委託料等）に対し予算の範囲内で補助を行う。 |

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 No. 1

| 基本目標 | 指標 | 第7期 | | |
|--------------------------|--|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| | | 実績 | | 目標 |
| | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| 1 生きがいづくりと 健やかな暮らしの充実 | ① 高齢者生きがい活動センター利用者数 | 50,696人 | 46,362人 | 54,083人 |
| | ② 【高齢者等実態調査】生きがいがある高齢者 | — | 74.3% | 55% |
| | ③ 地区公民館主催講座延べ受講者数 | 51,706人 | 42,499人 | 57,124人 |
| | ④ 【高齢者等実態調査】いきいきした地域づくり活動に参加者として「参加意向がある」高齢者 | — | 54.1% | 60% |
| | ⑤ シルバー人材センター会員数 | 1,969人 | 2,050人 | 1,971人 |
| | ⑥ 【市民意識調査】成人(20～84歳)の週1回以上の運動・スポーツ実施率 | — | 35.7% | 50% |
| | ⑦ 健康寿命 | 男性80.19歳 女性83.89歳 | 男性80.48歳 女性83.97歳 | 男性81歳 女性85歳 |
| 2 相談支援体制の充実 | ① 地域包括支援センターの評価 | 全地域包括支援センターが評価基準をすべて満たしていた | 全地域包括支援センターが評価基準をすべて満たしていた | 全地域包括支援センターが評価基準をすべて満たしている |

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 No. 2

| 基本目標 | 指標 | 第7期 | | |
|-------------|--|--------------------|-------------------|-------------------|
| | | 実績 | | 目標 |
| | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| 2 相談支援体制の充実 | ② 【高齢者等実態調査】地域包括支援センターの認知度 | — | 35.8% | 44% |
| | ③ 地域ケア会議開催回数 | 33回 | 37回 | 33回 |
| | ④ 高齢者支援事業者との連携による見守り事業協力事業者数(累積) | 629事業者 | 711事業者 | 746事業者 |
| | ⑤ 介護相談件数 | 1,599件 | 1,432件 | 2,010件 |
| | ⑥ 【高齢者等実態調査】介護を理由に退職した介護者 | — | 9.1% | 0% |
| | ⑦ 【高齢者等実態調査】成年後見制度認知度 | — | 33.9% | 32% |
| | ⑧ 【高齢者等実態調査】高齢者虐待の認識についての調査に誤回答等をしている介護者 | — | 17.0% | 10% |
| 3 介護予防の推進 | ① 【高齢者等実態調査】健康の保持・増進や介護予防のために、心がけていることが「特にない」高齢者 | — | 3.1% | 4% |
| | ② 75歳以上高齢者の要支援・要介護認定率 | 32.6% | 31.8% | 33.6% |
| | ③ ひろばde体操 実施箇所数 | 11か所 | 12か所 | 10か所 |
| | ④ いきいき百歳体操 実施グループ数 | 128グループ | 154グループ | 180グループ |

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 No. 3

| 基本目標 | 指標 | 第7期 | | |
|-----------------------|--|----------------------|-------------------|--------------------|
| | | 実績 | | 目標 |
| | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| 3 介護予防の推進 | ⑤ いきいき百歳体操 参加者数（活動支援1回目） | 1,732人 | 2,111人 | 2,700人 |
| | ⑥ 介護予防推進員 登録者数 | 123人 | 139人 | 180人 |
| 4 自立した暮らしの実現に向けた支援の充実 | ① 【自立支援型ケアマネジメント研修アンケート】 自立支援型ケアマネジメントを十分に理解している事業者 | 38.9% | 27.3% | 40% |
| | ② ケアプランのケース検討数 | 87ケース | 81ケース | 126ケース |
| | ③ 訪問型・訪問型短期集中サポートサービス | 継続して実施 | 継続して実施 | 事業内容の多様化 や拡充を検討 |
| | ④ 通所型サポートサービス | 通所型入浴サポート サービスを開始 | 新たなサービス体 系を検討 | 事業内容の多様化 や拡充を検討 |
| | ⑤ 【高齢者等実態調査】いきいきした地域づくり活動に企 画・運営として「参加意向がある」高齢者 | — | 28.9% | 35% |
| | ⑥ 救急医療情報キット延べ配布数 | 14,279人 | 15,067人 | 15,730人 |
| 5 認知症支援の推進 | ① 認知症サポーター養成講座受講者数（年度末累積） | 24,390人 | 26,657人 | 30,400人 |
| | ② 認知症サポーターの自主的な活動への支援 | フォローアップ 研修など | フォローアップ 研修など | 活動の場の提供・ 集団支援 |

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 No. 4

| 基本目標 | 指標 | 第7期 | | |
|-----------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------|
| | | 実績 | | 目標 |
| | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| 5 認知症支援の推進 | ③ 認知症についての情報の周知 | ガイドブック、ポータルサイト、ホームページを活用した情報発信 | ガイドブック、ポータルサイト、ホームページを活用した情報発信 | ポータルサイト、ホームページ等 |
| | ④ 認知症ケアパス | 2,500部 | 1,500部 | 随時更新・配布 |
| | ⑤ 認知症初期集中支援チーム | 1チーム設置 評価・検証 | 1チーム設置 評価・検証 | 評価・検証 |
| | ⑥ 認知症カフェ | 23か所 | 24か所 | 周知・後方支援 |
| | ⑦ 徘徊高齢者SOSネットワーク事業 協力事業者数 (累積) | 498事業者 | 633事業者 | 685事業者 |
| | ⑧ 認知症地域支援推進員 | 1人設置 評価・検証 | 1人設置 評価・検証 | 評価・検証 |
| 6 在宅医療と介護の連携の推進 | ① 在宅医療・介護連携推進協議会開催回数 | 2回 | 1回 | 2回 |
| | ② 地域医療推進懇談会開催回数 | 3回 | 3回 | 2回 |
| | ③ 多職種連携研修参加者の医療介護連携の主観的満足度 | 42.2% | 60.7% | 50% |
| | ④ 【高齢者等実態調査】かかりつけ医のいる高齢者 | — | 78.6% | 85% |

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 No. 5

| 基本目標 | 指標 | 第7期 | | |
|-----------------|--|--------------------|-------------------|-------------------|
| | | 実績 | | 目標 |
| | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| 6 在宅医療と介護の連携の推進 | ⑤ 【高齢者等実態調査】かかりつけ歯科医のいる高齢者 | — | 71.9% | 80% |
| | ⑥ 【高齢者等実態調査】かかりつけ薬局を決めている高齢者 | — | 60.2% | 70% |
| | ⑦ 【高齢者等実態調査】人生の最終段階における医療について話し合ったことがある高齢者 | — | 41.4% | 50% |
| | ⑧ ポータルサイト「すいた年輪サポートナビ」 | 医療情報等を追加 | 追加項目の検討 チラシの作成 | 周知、内容の充実 |
| | ⑨ 看護小規模多機能型居宅介護 整備箇所数 | 1か所 | 2か所 | 2か所 |
| | ⑩ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 整備箇所数 | 2か所 | 2か所 | 3か所 |
| | ⑪ 退院支援加算の体制を取っている病院・診療所数 | 10か所 | 10か所 | 9か所 |
| 7 安心・安全な暮らしの充実 | ① 【高齢者等実態調査】住まいの困りごとが「段差が多い」認定者 | — | 21.6% | 20% |
| | ② 【高齢者等実態調査】住まいの困りごとが「耐震対策ができていない」高齢者 | — | 15.6% | 12% |
| | ③ 住まい探し相談会 開催回数 | 1回/年 | 1回/年 | 1回/年 |
| | ④ 特定経路等のバリアフリー化整備率 | 52.8% | 57.0% | 100% |

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 No. 6

| 基本目標 | 指標 | 第7期 | | |
|----------------------------|---|--------------------|-------------------|-------------------|
| | | 実績 | | 目標 |
| | | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| 7 安心・安全な暮らしの充実 | ⑤ 連合自治会単位での自主防災組織結成率 | 73.5% | 73.5% | 2025年度に100% |
| | ⑥ 【高齢者等実態調査】住宅用火災警報器設置率 | — | 73.0% | 設置率100%に向けた普及・啓発 |
| | ⑦ 特殊詐欺被害件数 | 97件 | 97件 | 0件 |
| 8 介護サービスの充実・介護保険制度の持続可能な運営 | ① 介護人材確保策 | 新規事業の実施・効果検証 | 新規事業の実施・効果検証 | 新規事業の実施・効果検証 |
| | ② 【高齢者等実態調査】受けている介護保険サービスに満足している利用者の割合 | — | 79.3% | 70% |
| | ③ ポータルサイト「すいた年輪サポートなび」 | 医療情報等を追加 | 追加項目の検討 チラシの作成 | 周知、内容の充実 |
| | ④ 「社会福祉法人等による利用者負担軽減事業」の実施申出をしている市内の社会福祉法人の割合 | 39.3% | 39.3% | 60% |
| | ⑤ 小規模多機能型居宅介護 整備箇所数 | 8 か所 | 8 か所 | 8 か所 |
| | ⑥ 看護小規模多機能型居宅介護 整備箇所数 | 1 か所 | 2 か所 | 2 か所 |
| | ⑦ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 整備箇所数 | 2 か所 | 2 か所 | 3 か所 |
| | ⑧ 認知症高齢者グループホーム 整備箇所数 | 17か所 | 18か所 | 19か所 |
| | ⑨ 小規模特別養護老人ホーム 整備箇所数 | 6 か所 | 7 か所 | 10か所 |

令和元年度(2019年度)
地区敬老行事運営委員会の主な構成団体(民生・児童委員協議会を除く)

| No. | 地区 | 構成団体 |
|-----|-----------|---|
| 1 | 吹一地区 | 地区福祉委員会 |
| 2 | 吹六地区 | 地区福祉委員会 |
| 3 | 吹二地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、高齢クラブ、母子会、母子福祉会 |
| 4 | 吹三地区 | 防犯協議会、小学校、中学校生徒ボランティア |
| 5 | 東地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、防犯協議会、中学校、小学校 |
| 6 | 吹南地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、防犯協議会 |
| 7 | 山手地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、高齢クラブ、小学校、ボランティアグループ |
| 8 | 片山地区 | 地区連合自治会、体育振興会 |
| 9 | 千一地区 | 防犯協議会 |
| 10 | 佐井寺地区 | 地区福祉委員会、体育振興会、母子会、小学校 |
| 11 | 千二地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、体育振興会、高齢クラブ、小学校 |
| 12 | 五月が丘地区 | 地区福祉委員会、中学校、小学校 |
| 13 | 千三地区 | 地区福祉委員会、地域活動協議会、中学校、小学校 |
| 14 | 千里新田地区 | 地区福祉委員会、まちづくり協議会 |
| 15 | 豊一地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、体育振興会、中学校、小学校、こども会 |
| 16 | 豊津西地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会 |
| 17 | 岸部地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、体育振興会、青少年対策委員会、高齢クラブ、公民館、赤十字奉仕団 |
| 18 | 山一地区 | 地区連合自治会 |
| 19 | 北山田地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会 |
| 20 | 西山田地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、体育振興会、青少年対策委員会 |
| 21 | 山二地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、連合町会 |
| 22 | 山三地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、体育振興会、青少年対策委員会 |
| 23 | 山五地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、体育振興会、防犯協議会、公民館企画運営委員会、小学校 |
| 24 | 南千里 I 地区 | ※民生・児童委員協議会のみで構成 |
| 25 | 南千里 II 地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会 |
| 26 | 北千里地区 | 地域包括支援センター、ポースカウト |
| 27 | 藤白台地区 | 地区福祉委員会、地区連合自治会、青少年対策委員会、防犯協議会、高齢クラブ、小学校 |

吹田市民はつらつ元気大作戦の実績（平成 29 年度（2017 年度）～令和元年度（2019 年度））No 1

| | | | 平成 29 年度 (2017 年度) | 平成 30 年度 (2018 年度) | 令和元年度 (2019 年度) | 備考 | |
|------------|-------------------------------|----------|-----------------------|-----------------------|--------------------|---|-------|
| 介護予防教室・講演会 | はつらつ体操教室 (運動器の機能向上) | 年間実施コース数 | 18 | 35 | 36 | 平成 29 年 10 月から実施 | |
| | | 実施回数(回) | 208 | 399 | 364 | | |
| | | 参加者数(人) | 実 | 202 | 393 | | 397 |
| | | | 延 | 1,887 | 3,703 | | 3,421 |
| | 認知症予防教室 | 年間実施コース数 | 8 | 8 | 8 | | |
| | | 実施回数(回) | 96 | 96 | 90 | | |
| | | 参加者数(人) | 実 | 226 | 177 | | 127 |
| | | | 延 | 2,239 | 1,802 | | 1,202 |
| | お口からはじまる健康教室 (口腔機能向上・栄養改善) | 年間実施コース数 | 6 | 6 | — | 平成30年度まで実施 ※「お口元気アップ教室」「今こそ！栄養教室」へ移行 | |
| | | 実施回数(回) | 18 | 18 | — | | |
| | | 参加者数(人) | 実 | 176 | 141 | | — |
| | | | 延 | 515 | 372 | | — |
| | お口元気アップ教室 (口腔機能機能向上) | 年間実施コース数 | — | — | 5 | 令和元年度から実施 | |
| | | 実施回数(回) | — | — | 10 | | |
| | | 参加者数(人) | 実 | — | — | | 91 |
| | | | 延 | — | — | | 165 |
| | 今こそ！栄養教室 | 年間実施コース数 | — | — | 4 | 令和元年度から実施 | |
| 実施回数(回) | | — | — | 8 | | | |
| 参加者数(人) | | 実 | — | — | 95 | | |
| | | 延 | — | — | 179 | | |
| 介護予防講演会 | 実施回数(回) | 10 | 10 | 10 | | | |
| | 参加者数(人) | 748 | 947 | 944 | | | |

吹田市民はつらつ元気大作戦の実績（平成 29 年度（2017 年度）～令和元年度（2019 年度））No 2

| | | 平成 29 年度 (2017 年度) | 平成 30 年度 (2018 年度) | 令和元年度 (2019 年度) | 備考 | | |
|------------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|-----------|-----|--|
| ひろば de 体操 | 実施場所数(箇所) | 6 | 11 | 12 | 旧公園体操 | | |
| | 実施回数(回) | 210 | 358 | 418 | | | |
| | 参加者数(人) | 4,164 | 8,777 | 11,461 | | | |
| 出前講座 | 実施回数(回) | 145 | 80 | 59 | | | |
| | 参加者数(人) | 2,933 | 1,460 | 1,514 | | | |
| はつらつ元気手帳(介護予防手帳) | | — | — | 3,611 | 令和元年度から実施 | | |
| 介護予防推進員の養成・支援 | 介護予防推進員養成講座 | 年間実施コース数 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | 実施回数(回) | 4 | 4 | 4 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | 92 | 118 | 135 | | |
| | 介護予防推進員スキルアップ研修 | 実施回数(回) | 1 | 3 | 3 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | 30 | 73 | 127 | | |
| | 介護予防推進員交流会 | 実施回数(回) | 1 | 0 | 0 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | 24 | 0 | 0 | | |
| | 介護予防推進員登録人数 | | 登録者数(人) | 110 | 123 | 139 | |

吹田市民はつらつ元気大作戦の実績（平成 29 年度（2017 年度）～令和元年度（2019 年度）） No 3

| | | | 平成 29 年度 (2017 年度) | 平成 30 年度 (2018 年度) | 令和元年度 (2019 年度) | 備考 | |
|--------------------------|----------------|----------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|--|---|
| 住民主体の通いの場への支援 | いきいき百歳体操おためし講座 | 実施グループ数 | 72 | 42 | 30 | いきいき百歳体操未実施グループを対象とした講座 | |
| | | 実施回数(回) | 72 | 42 | 30 | | |
| | | 参加者数(人) | 1,138 | 575 | 478 | | |
| | いきいき百歳体操活動支援講座 | 実施グループ数 | 72 | 46 | 27 | 週1回、3か月以上継続するための技術的支援等を行う4回連続の講座 | |
| | | 延べ実施回数(回) | 272 | 162 | 100 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | 3,963 | 1,773 | 1,284 | | |
| | いきいき百歳体操フォロー講座 | 実施グループ数 | 77 | 118 | 146 | 活動支援講座終了後3か月、それ以降は6か月に1回の技術的支援や個別指導を行う講座 | |
| | | 延べ実施回数(回) | 148 | 238 | 274 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | 2,232 | 3,270 | 3,793 | | |
| | ステップアップ講座 | いきいき百歳体操スペシャル版 | 実施グループ数 | — | 63 | 29 | 平成30年度から順次実施 いきいき百歳体操を1年以上継続したグループを対象とした講座 ※4種類の内1種類をフォローの講座とあわせてグループの希望に基づいて実施 |
| | | | 延べ実施回数(回) | — | 63 | 29 | |
| | | | 延べ参加者数(人) | — | 876 | 361 | |
| | | 吹田はつらつ体操 | 実施グループ数 | — | 25 | 16 | |
| | | | 延べ実施回数(回) | — | 25 | 16 | |
| | | | 延べ参加者数(人) | — | 417 | 242 | |
| 吹田かみかみ健口体操 | | 実施グループ数 | — | 39 | 51 | | |
| | | 延べ実施回数(回) | — | 39 | 51 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | — | 572 | 742 | | |
| 吹田きらきら脳トレ体操 | | 実施グループ数 | — | — | 70 | | |
| | | 延べ実施回数(回) | — | — | 70 | | |
| | | 延べ参加者数(人) | — | — | 977 | | |
| いきいき百歳体操継続支援対象グループ数(年度末) | | | 93 | 128 | 154 | | |

令和元年度（2019年度）介護人材確保に係る事業実績一覧 No.1

1 高齢福祉室所管分（介護人材確保事業）

（1）介護資格取得支援事業

| 研修種別 | 実施方法 | 事業所等数 | 修了者数 | 決算額 |
|------------|------|-------|------|------------|
| 介護職員初任者研修 | 補助金 | 5か所 | 5人 | 157,000円 |
| 介護福祉士実務者研修 | | 12か所 | 19人 | 1,060,000円 |
| 合計 | | | 24人 | 1,217,000円 |

（2）介護職員等喀痰吸引等研修（実地研修）

| 研修種別 | 実施方法 | 施設数 | 修了者数 | 決算額 |
|------------------|------|------|------|------------|
| 喀痰吸引等研修（第2号）実地研修 | 委託 | 12か所 | 18人 | 1,275,450円 |

（3）就職面接会等

| 行事名 | 実施方法 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 |
|----------------|------|----------------------|-----------|------|
| 介護の仕事魅力発信！セミナー | 共催 | 令和元年（2019年）7月12日（金） | ハローワーク淀川 | 52人 |
| 吹田市合同就職面接会 | | 令和元年（2019年）7月25日（木） | 吹田市立勤労者会館 | 82人 |
| 介護の仕事魅力発見セミナー | 主催 | 令和元年（2019年）12月18日（水） | JOBナビすいた | 7人 |

※令和2年（2020年）2月に予定していた介護の仕事魅力発信！セミナー（2/21）及び吹田市合同面接会（2/27）は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

令和元年度（2019年度）介護人材確保に係る事業実績一覧 No. 2

2 障がい福祉室所管分（障がい福祉サービス等人材確保・養成事業）

（1）障害福祉サービス等資格取得支援事業

| 研修種別 | 実施方法 | 事業所数 | 修了者数 | 決算額 |
|---------------|------|------|------|----------|
| 行動援護従業者養成研修 | 補助金 | 3か所 | 11人 | 143,000円 |
| 強度行動障害支援者養成研修 | | 10か所 | 19人 | 91,200円 |
| 喀痰吸引等研修（第3号） | | 7か所 | 34人 | 402,187円 |
| 同行援護従業者養成研修 | | 6か所 | 10人 | 79,120円 |
| 移動支援従業者養成研修 | | 2か所 | 3人 | 21,000円 |
| 合計 | | | 77人 | 736,507円 |

令和元年度（2019年度）高齢者いこいの間管理運営事業

単位：円

| | 令和元年度 (2019年度) A | 平成30年度 (2018年度) B | A - B |
|-------------|---------------------|----------------------|------------|
| 需用費 | 2,535,016 | 2,483,631 | 51,385 |
| 消耗品費 | 380,248 | 313,058 | 67,190 |
| 光熱水費 | 1,658,198 | 1,645,365 | 12,833 |
| 修繕料 | 496,570 | 525,208 | △28,638 |
| 役務費 | 4,870 | 6,160 | △1,290 |
| その他保険料 | 4,870 | 6,160 | △1,290 |
| 委託料 | 361,426 | 2,307,065 | △1,945,639 |
| 植木剪定委託料 | 197,860 | 205,601 | △7,741 |
| 消防点検委託料 | 138,050 | 141,264 | △3,214 |
| 調査・測量委託料 | 25,516 | 1,960,200 | △1,934,684 |
| 使用料及び賃借料 | 1,045,250 | 1,027,390 | 17,860 |
| NHK受信料 | 378,170 | 373,720 | 4,450 |
| CATV受信料 | 667,080 | 653,670 | 13,410 |
| 工事請負費 | 17,438,300 | 0 | 17,438,300 |
| 備品購入費 | 308,880 | 377,568 | △68,688 |
| 負担金、補助及び交付金 | 480,000 | 480,000 | 0 |
| 合 計 | 22,173,742 | 6,681,814 | 15,491,928 |

〔主な増減の理由〕

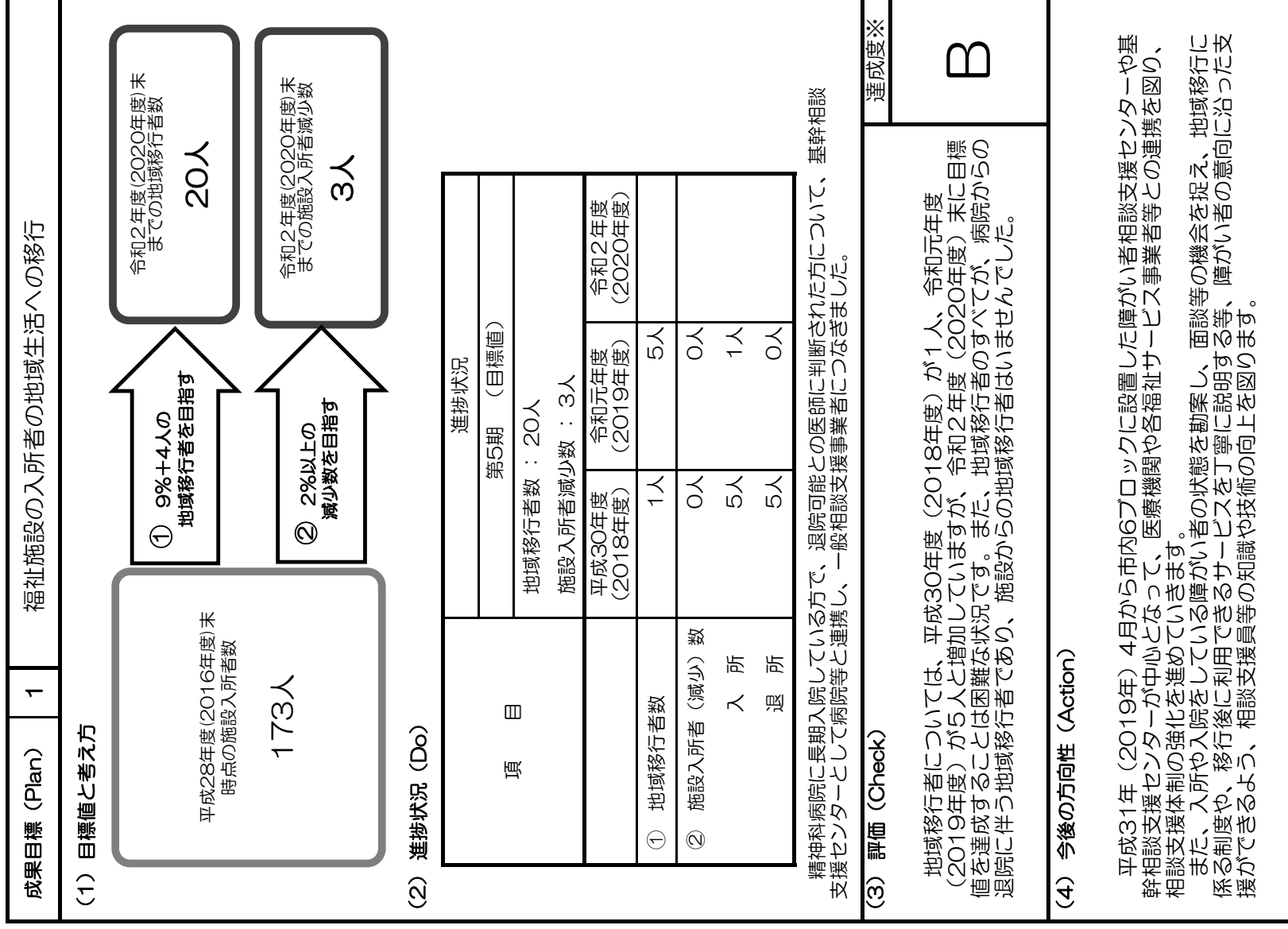
工事請負費：旧山手地区高齢者いこいの間解体撤去工事及び山二地区高齢者いこいの間屋上防水工事を施工したため17,438,300円の皆増

委託料：旧山手地区高齢者いこいの間用地確定測量業務、敷地の土地利用履歴等調査業務及び吹付仕上塗材石綿分析調査業務を前年度実施したため1,945,639円の減

令和元年度（2019年度）高齢者フレイル等予防推進事業実績

| No | 事業内容 | 実績 |
|----|--|---|
| 1 | 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る共同研究業務」の委託 委託先 大阪大学大学院 | (1) 医療・保健・介護情報等の一体的な分析 国保データベースシステムから抽出した医療費、健診結果、介護保険データ、市システムから抽出した介護予防データ等を結合し、フレイルに関する地域別の状況についての報告書を作成 (2) 低栄養スクリーニングツール等の開発 低栄養予防教育媒体及び低栄養リスクチェックの作成 |
| 2 | 介護予防事業における低栄養予防教育及び低栄養リスクチェックの実施 | 実施回数 21回 実施人数 188人 個別相談対象者 57人 |
| 3 | 「吹田市フレイル等予防栄養相談業務」の委託 委託先 大阪府栄養士会 | 管理栄養士による個別相談 実施人数 15人 |
| 4 | 個別指導検討・評価会議の開催 | 個別指導検討・評価会議 第1回目 令和元年（2019年）10月8日 第2回目 令和2年（2020年）2月26日 助言者 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座 教授 神出計 |
| 5 | 健康状態不明者アウトリーチ（試行実施） | 令和元年度末で満79歳の健康状態不明者を対象とした保健師による訪問件数 20件 |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.1



※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進捗があった 「C」目標の達成に向けて進捗が見られなかった

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.2

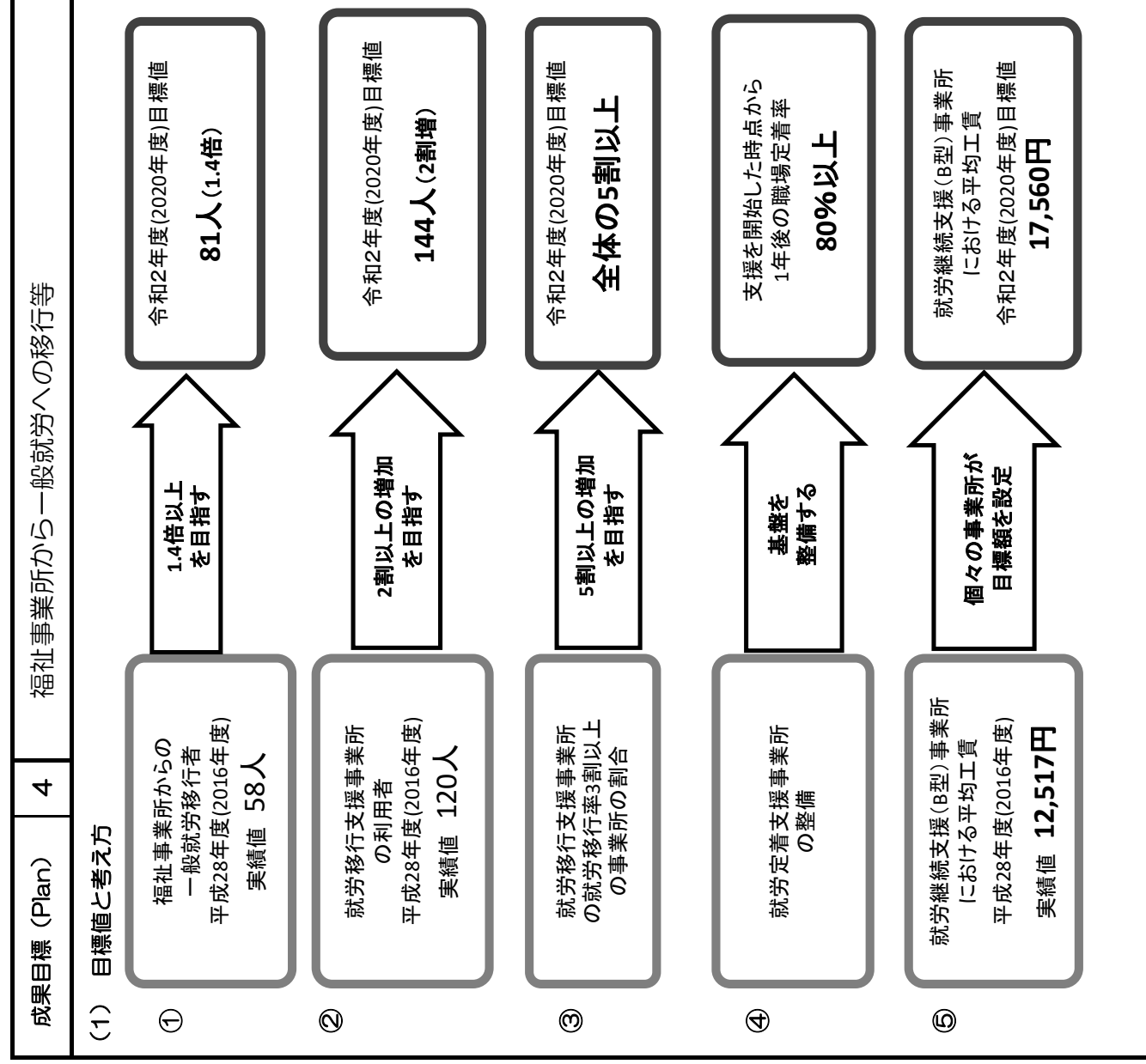
| 成果目標 (Plan) | 2 | 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築 | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|----|------|--|-----------|--|-----------|--|-------|---------------------------|--------------------------|-------|---|--|
| <p>(1) 目標値と考え方</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">保健・医療・福祉関係者 による協議の場 未設置</div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市町村ごとに 設置</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">令和2年度(2020年度)末 までに 設置</div> </div> <p>(2) 進捗状況 (Do)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 30%;">項目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">進捗状況</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">第5期 (目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">協議の場 : 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">設置の有無</td> <td style="text-align: center;">平成30年度 (2018年度) 未設置</td> <td style="text-align: center;">令和元年度 (2019年度) 未設置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置の方法</td> <td colspan="2">地域自立支援協議会精神障がい者支援部会などを参考にし、保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置する。</td> </tr> </tbody> </table> | | | 項目 | 進捗状況 | | 第5期 (目標値) | | 協議の場 : 設置 | | 設置の有無 | 平成30年度 (2018年度) 未設置 | 令和元年度 (2019年度) 未設置 | 設置の方法 | 地域自立支援協議会精神障がい者支援部会などを参考にし、保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置する。 | |
| 項目 | 進捗状況 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第5期 (目標値) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 協議の場 : 設置 | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置の有無 | 平成30年度 (2018年度) 未設置 | 令和元年度 (2019年度) 未設置 | | | | | | | | | | | | | |
| 設置の方法 | 地域自立支援協議会精神障がい者支援部会などを参考にし、保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置する。 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(3) 評価 (Check)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> 達成度※ B </div> <p>「市圏域（市町村ごと）の協議の場」の設置に向け、吹田市精神保健福祉ネットワーク会議の意見を参考に検討を進めていますが、設置には至っていません。 「障害保健福祉圏域（保健所圏域）の協議の場」が、中核市移行に伴い吹田市の管轄となり、それぞれの協議の場の役割や双方の構造について整理の必要があります。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(4) 今後の方向性 (Action)</p> <p>市圏域の協議の場と、障害保健福祉（保健所）圏域の協議の場の役割等を整理したうえで、令和2年度（2020年度）末の設置に向け、引き続き検討を進めます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.3

| 成果目標 (Plan) | 3 | 障がい者地域生活の支援 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------|----|-------------------|--|--|------------------------------------|--|-------|--------------------|-------------------|--|---|---|----|---|--|
| <p>(1) 目標値と考え方</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">地域生活支援拠点等の整備</div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市町村（圏域）で 1か所以上整備</div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">令和2年度(2020年度)末 までの整備数 1か所</div> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(2) 進捗状況 (Do)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">進捗状況 第5期 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="font-size: small;">拠点等の整備：1か所設置。 拠点施設としての役割を充実させる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設置の有無</td> <td style="text-align: center;">平成30年度 (2018年度)</td> <td style="text-align: center;">令和元年度 (2019年度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">備考</td> <td colspan="2">平成28年(2016年)6月に障害者くらしの支援センターみんなのきを整備済み。</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜平成30年度(2018年度)＞ 障がい者相談支援センターの事業者の設置準備（事業者選定）、喀痰吸引等研修の受講費用等の補助制度の創設 ＜令和元年度(2019年度)＞ 障がい者相談支援センター6か所開設、グループホームの整備促進支援策の検討、地域生活支援拠点等の機能の他市先行事例の視察の実施</p> | | | 項目 | 進捗状況 第5期 (目標値) | | | 拠点等の整備：1か所設置。 拠点施設としての役割を充実させる。 | | 設置の有無 | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | | 1 | 1 | 備考 | 平成28年(2016年)6月に障害者くらしの支援センターみんなのきを整備済み。 | |
| 項目 | 進捗状況 第5期 (目標値) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 拠点等の整備：1か所設置。 拠点施設としての役割を充実させる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置の有無 | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 平成28年(2016年)6月に障害者くらしの支援センターみんなのきを整備済み。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(3) 評価 (Check)</p> <p>地域生活支援拠点の施設としての整備は完了し、その施設において一定の事業実施は行っていますが、当該拠点施設及び市内の障害福祉サービス事業所等を活用し、「1地域生活への移行や親元からの自立等に係る相談」「2一人暮らし、グループホームへの入居等の体験の機会及び場の提供」「3ショートステイの利便性、対応力の向上等による緊急時の受入対応体制の確保」「4人材の確保・養成。連携等による専門性の確保」「5サービス拠点の整備及びコーディネーターの配置等による地域の体制づくり」の5つの機能を強化していく必要があります。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(4) 今後の方向性 (Action)</p> <p>ニーズの高い「緊急時の受入れ及び対応体制の確保」に向けて、拠点施設及び市内短期入所施設における緊急受入れ枠をより有効に活用し、引き続き支援体制の検討を進めます。 「相談支援体制の強化」及び「地域の体制づくり」については、障がい者相談支援センターを中心とした相談支援体制の強化を図ります。 「一人暮らし等の体験の機会及び場の提供」の機能を担うグループホームの整備促進に取り組みます。 「専門的人材の養成、確保」については、引き続き人材確保に係る事業を継続するとともに、拠点施設における人材養成の方策を検討します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>達成度※</p> <h1 style="font-size: 3em;">B</h1> | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.4



第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.5

| | | | |
|---|--|-------------------|-------------------|
| 成果目標 (Plan) | 4 | 福祉事業所から一般就労への移行等 | |
| (2) 進捗状況 (Do) | | | |
| 進捗状況 | | | |
| 第5期 (目標値) | | | |
| 項目 | ① 福祉事業所からの一般就労移行者：81人 ② 就労移行支援事業所利用者：144人 ③ 就労支援事業所の就労移行率3割以上の事業所の割合：5割以上 ④ 就労定着支援事業所の整備：支援開始から1年後の職場定着率80%以上 ⑤ 就労継続支援B型事業所の平均工賃：令和2年度(2020年度)までに17,560円 | | |
| | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) |
| ① 一般就労移行者数 | 71人 | 76人 | |
| ② 就労移行支援事業所利用者数 | 152人 | 136人 | |
| ③ 就労移行率3割の事業所の割合 | 4.3割 | 0.0割 | |
| ④ 支援開始から1年後の職場定着率 | | 89.5% | |
| ⑤ 平均工賃額 (就労継続支援B型) | 13,113円 | 15,225円 | |
| 就労移行支援事業所間のネットワーク構築及び連携の強化に向けて、検討を進めました。 また、障がい者就労支援事業を実施し、授産製品の共同販売及び役務の共同受注を行う仕組みを支えることにより、障がい者の工賃向上をめざし、取り組んでいます。 <平成30年度(2018年度)> > 「吹田スタジアムフェスタ」での販売活動 <令和元年度(2019年度)> > ・ガンバ大阪「吹田市民応援デー」会場での販売活動 ・新商品開発や既存製品のパッケージデザインリニューアルを大学と共同で実施 | | | |
| (3) 評価 (Check) | | 達成度※2 | |
| 福祉施設からの一般就労移行者数及び就労継続支援事業所における工賃の平均額は、令和元年度(2019年度)末時点では目標値を下回っていますが、このまま推移すれば、令和2年度(2020年度)末には目標を達成できる見込みです。また、支援開始から1年後の職場定着率は、すでに令和2年度(2020年度)目標値を達成しています。 一方で、就労移行支援事業の利用者数(※1)及び就労移行率3割の事業所の割合については、目標を下回っています。 ※1 本市で支給決定し、他市の事業所を利用する者も含む。 | | B | |
| (4) 今後の方向性 (Action) | | | |
| 一般就労移行者数や就労移行率3割の事業所の割合を高めようとするためには、幅広い選抜肢の中からサービス利用者にとって最適な支援へつなぐことが必要ですが、現状では、就労移行支援事業所間やその他支援機関同士のつながりが少ない状況です。より効果的な支援を行うため、今後も引き続き、事業者間のネットワーク構築及び連携強化に取り組みます。 また、障がい者の工賃向上のため、引き続き、授産製品の販売機会の拡大に取り組みます。 | | | |

※2 「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.6

| 場面別 (Plan) | 1 居宅生活 (暮らす・憩う) の支援体制の整備 |
|------------|---|
| (1) 具体的な取組 | <p data-bbox="432 1070 465 1385">ア 訪問系サービスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="477 242 555 1318">○ 医療的ケアを行うための喀痰吸引等研修、同行援護従業者研修、強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）等の受講支援 <li data-bbox="566 300 600 1318">○ 重度障がい者に対する支給量を十分に確保する等手厚い体制での支援を実施 <p data-bbox="633 1007 667 1385">イ 短期入所サービスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="678 242 712 1318">○ 利用者の多様なニーズに対応できるよう、短期入所事業所のネットワークを構築 <li data-bbox="723 874 757 1318">○ 緊急時利用への対応の機能整備 <li data-bbox="768 300 801 1318">○ 一人暮らしやグループホーム等での生活の練習のための生活体験利用の促進 <li data-bbox="813 268 846 1318">○ 医療的ケア等の対応可能な事業所の整備及び医療機関などの関係機関との連携 <p data-bbox="880 1034 913 1385">ウ 居住系サービスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="925 699 958 1318">○ グループホームの整備を図るための事業構築 <li data-bbox="969 185 1048 1318">○ 医療的ケアが必要、強度行動障がい等の重度障がい者が利用できるグループホームの整備の推進 <li data-bbox="1059 242 1115 1318">○ グループホームの整備の促進を図るため、障がい者に対する正しい理解や知識についての啓発活動の推進 <li data-bbox="1126 210 1160 1318">○ 施設入所支援が必要な人が利用できるよう、待機者の状況把握及び入所調整を実施 <li data-bbox="1171 300 1205 1318">○ 施設からの地域移行や親元からの自立のための体験型グループホームの整備 <p data-bbox="1238 663 1272 1385">エ 計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1283 185 1361 1318">○ すべての障がい福祉サービス利用者に対しサービス等利用計画書の作成ができるよう事業所の整備及び事業運営の安定化を図るためモニタリングのあり方を検討 <li data-bbox="1373 360 1451 1318">○ 市内の事業所で組織している「計画相談支援事業者連絡会」と連携した相談支援専門員のスキルアップの促進 <p data-bbox="1485 719 1518 1385">オ 地域生活支援事業（相談支援事業など）の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1529 416 1563 1318">○ 市域を6地域に分割し、各地域に障がい者相談支援センターを配置 <li data-bbox="1574 242 1653 1318">○ 基幹相談支援センターによる障がい者相談支援センター及び計画相談支援事業所に対するバックアップ機能の強化 <li data-bbox="1664 759 1697 1318">○ 成年後見制度利用支援事業の普及啓発等 <li data-bbox="1709 268 1787 1318">○ 在宅の身体障がい者の生活を支援するための訪問入浴サービス事業の継続及びサービスの質の向上と提供体制の確保 |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.7

| 場面別 (Plan) | | 1 居宅生活 (暮らし・憩う) の支援体制の整備 | | | | | | | | | | | |
|------------------|----------------------|--------------------------|----------|--------|---------------|--------|----------|---------------|----------|-----|--|--|--|
| 年度 | (2) 進捗状況 (活動指標) (Do) | 平成30年度(2018年度) | | | 令和元年度(2019年度) | | | 令和2年度(2020年度) | | | | | |
| | | 実績(人/月) | 利用量 | 見込数 | 実績(人/月) | 利用量 | 見込数 | 実績(人/月) | 利用量 | 見込数 | | | |
| ア | 居宅介護 | 812人 | 16,618時間 | 1,090人 | 15,500時間 | 990人 | 15,162時間 | 1,130人 | 16,300時間 | | | | |
| | 重度訪問介護 | 20人 | 3,698時間 | 29人 | 4,350時間 | 21人 | 3,406時間 | 31人 | 4,650時間 | | | | |
| | 同行介護 | 85人 | 2,310時間 | 127人 | 2,790時間 | 105人 | 2,239時間 | 130人 | 2,860時間 | | | | |
| | 行動介護 | 172人 | 3,889時間 | 235人 | 3,060時間 | 214人 | 3,722時間 | 260人 | 3,430時間 | | | | |
| イ | 重度障がい者等包括支援 | 0人 | 0時間 | 1人 | 240時間 | 0人 | 0時間 | 1人 | 240時間 | | | | |
| | 短期入所 | 289人 | 1,902人日 | 470人 | 1,970人日 | 439人 | 25,198人日 | 500人 | 2,200人日 | | | | |
| ウ | 共同生活援助 | 355人 | | 570人 | | 395人 | | 600人 | | | | | |
| | 施設入所支援 | 176人 | | 171人 | | 181人 | | 170人 | | | | | |
| | 自立生活援助 | 0人 | | 8人 | | 0人 | | 8人 | | | | | |
| エ | 計画相談支援 | 1,243人 | | 1,900人 | | 1,332人 | | 2,200人 | | | | | |
| | 地域移行支援 | 9人 | | 20人 | | 5人 | | 20人 | | | | | |
| | 地域定着支援 | 1人 | | 12人 | | 2人 | | 12人 | | | | | |
| オ | 介護訓練支援用具 | | 28件 | | 50件 | | 42件 | | 55件 | | | | |
| | 日常生活用具 | | 96件 | | 160件 | | 78件 | | 170件 | | | | |
| | 在宅療養等支援用具 | | 88件 | | 90件 | | 89件 | | 90件 | | | | |
| | 情報・意思疎通支援用具 | | 278件 | | 410件 | | 331件 | | 420件 | | | | |
| | 排せつ管理支援用具 | | 7,769件 | | 7,800件 | | 7,627件 | | 7,800件 | | | | |
| | 居宅生活動作補助用具(住宅改修費) | | 5件 | | 13件 | | 7件 | | 13件 | | | | |
| | 訪問入浴サービス事業 | | 1,050人日 | | 1,158人日 | | 1,061人日 | | 1,194人日 | | | | |
| | 相談支援事業 | | | | | | | | | | | | |
| | 理解促進研修・啓発事業 | | | | | | | | | | | | |
| | 成年後見制度利用支援事業 | | | | | | | | | | | | |
| 成年後見制度法人(後見支援事業) | | | | | | | | | | | | | |
| カ | 障がい者相談支援事業所 | | 5か所 | | 6か所 | | 6か所 | | 6か所 | | | | |
| | 基幹相談支援センター | | 有 | | 有 | | 有 | | 有 | | | | |
| | 基幹相談支援センター等機能強化事業 | | 有 | | 有 | | 有 | | 有 | | | | |
| | 住居入居等支援事業(住居サポート事業) | | 無 | | 有 | | 無 | | 有 | | | | |
| 成年後見制度利用支援事業 | | 有 | | 有 | | 有 | | 有 | | | | | |
| 成年後見制度法人(後見支援事業) | | 無 | | 有 | | 無 | | 有 | | | | | |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.8

| | | | | |
|--|--|--------------------------|-----------------|-----------------|
| <p>(3) 重点課題別 評価 (Check) ⇒今後の方向性 (Action)</p> | <p>重点課題1 福祉サービス及び計画相談支援事業所の整備</p> | <p>評価 (Check)</p> | <p>達成度※</p> | <p>B</p> |
| <p>訪問系サービス、短期入所サービス及び居住系サービスについて、実績が必要見込みを下回っており、その要因として考えられるサービス事業所の不足に対応するため、整備促進策の検討を行いました。</p> <p>また、計画相談支援事業については、全ての利用者にサービス等利用計画（以下「計画」）を導入するため、相談支援専門員の増員により新規利用者の計画を作成した計画相談支援事業者に対する補助制度を開始しました。</p> | | | | |
| <p>今後の方向性 (Action)</p> | | | | |
| <p>令和2年度（2020年度）から再構築したグループホーム整備補助制度及び事業所賃借料補助制度を実施しながら整備状況の経過を検証します。</p> <p>また、計画相談支援事業については、新たな事業者の参入を促し、計画の導入が進むよう、計画相談支援事業者への補助制度を引き続き実施します。</p> | | | | |
| <p>※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった</p> | | | | |
| <p>重点課題2 障がい者相談支援センターの整備</p> | <p>評価 (Check)</p> | <p>達成度※</p> | <p>A</p> | |
| <p>令和元年度（2019年度）は、地域の相談窓口の機能として6か所の障がい者相談支援センターを設置しましたが、各センターの立地なども影響し、センターの認知度や相談件数について地域ごとに差が出ています。今後、地域の障がい者の一次相談窓口としての機能を高めることが課題となっています。また、相談者のニーズに合った相談支援が提供できるよう体制の強化が必要です。</p> | | | | |
| <p>今後の方向性 (Action)</p> | | | | |
| <p>障がい者相談支援センターの周知を図るとともに、訪問相談の実施等、相談支援の充実に取り組みます。また、一次相談窓口としての障がい者相談支援センターの役割を果たせるよう、研修等の実施により相談員の技術や知識の向上を図り、基幹相談支援センターや計画相談支援事業所等との連携の強化に取り組みます。</p> | | | | |
| <p>※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった</p> | | | | |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.9

| 重点課題3 緊急対応システムの構築及び体験入居（生活体験・訓練）の場 評価（Check） | | 達成度※ |
|--|--|----------|
| <p>本課題は、地域生活支援拠点の機能の一つであり、現在、拠点施設及び市内の短期入所施設において緊急受入れ枠の確保はできていますが、緊急時に円滑にサービスにつながる仕組みの構築までは至っていません。</p> | | B |
| <p>今後の方向性（Action）</p> <p>緊急対応システムの構築及び体験入居の場の整備については、他市の先行事例の研究を踏まえ、引き続き、支援体制の構築に向けた検討を進めます。</p> | | |
| <p>※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成が見られなかった</p> | | |
| 重点課題4 意思決定支援の促進 評価（Check） | | 達成度※ |
| <p>成年後見制度については、後見人等が実施する支援内容を障がい者が理解し、相談機関等を通じて利用につなげることが必要です。また、成年後見制度法人後見支援事業の実施には至っておらず、事業の担い手の確保が課題となっています。虐待防止の取組は、各事業所へ研修を実施し、虐待を未然に防止するとともに、発生した場合も早期発見・早期対応を行いました。合理的配慮の提供や情報保障の取組については、合理的配慮庁内推進会議の設置や、手話通訳士の増員を行いました。が、市役所庁内だけでなく、市内事業者においても促進されるよう啓発が必要です。</p> | | B |
| <p>今後の方向性（Action）</p> <p>成年後見制度利用支援事業については、市報すいたやホームページ等を活用しながら関係機関等と連携して一層の啓発に取り組みます。</p> <p>虐待防止の推進に当たっては、虐待防止に係る研修会等の実施や、市民に対する通報義務の周知を図ります。</p> <p>合理的配慮の提供が庁内全体の取組として浸透するよう、令和元年度（2019年度）に立ち上げた合理的配慮庁内推進会議において啓発や効果的な取組について検討します。さらに、地域全体で差別解消に向けた取組を推進するため、（仮）吹田市差別解消支援地域協議会を設置します。</p> <p>障がい者の情報保障については、令和元年度（2019年度）の手話言語条例の検討結果を踏まえ、今後、手話の普及啓発や意思疎通支援の施策を検討します。</p> | | |
| <p>※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成が見られなかった</p> | | |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.10

| 場分別 (Plan) | | 2 | | 日中活動 (働く・活動する) / 余暇活動 (遊ぶ・学ぶ) | | の支援体制の整備 | |
|---|--|----------------|-----------|-------------------------------|-----------|---------------|-----------|
| (1) 具体的な取組 | | | | | | | |
| ア 日中活動系サービスの整備 | | | | | | | |
| ○ 医療的ケアの必要な障がい者の日中活動の場の整備 ○ 日中活動の場の整備を促進するための取組み | | | | | | | |
| イ 地域生活支援事業の整備 | | | | | | | |
| 【意思疎通支援事業】 | | | | | | | |
| ○ サービスの質の向上、社会参加の支援のための手話通訳者及び要約筆記者の派遣体制の充実 | | | | | | | |
| ○ ボランティア団体等との連携 ○ 手話通訳奉仕員や要約筆記者の育成 (養成研修の実施) | | | | | | | |
| ○ 重度障がい者の入院時のコミュニケーションを円滑にするための支援員の派遣事業の評価・検証の実施 | | | | | | | |
| 【移動支援事業】 | | | | | | | |
| ○ 人材の育成の推進 (ガイドヘルパー養成講座等の吹田市障がい者等居宅介護等事業所連絡会との協働開催) | | | | | | | |
| ○ 重度障がい者に対する支給量を十分に確保する等手厚い体制での支援を実施 | | | | | | | |
| ○ 事業の活性化及び事業内容の充実 (外出先の確保等) | | | | | | | |
| 【地域活動支援センター事業】 | | | | | | | |
| ○ 精神障がい者の地域移行の促進及び地域生活の充実 (地域活動支援センターⅠ型の整備・機能強化) | | | | | | | |
| 【日中一時支援事業】 ○ 特に、成人の余暇活動支援とするサービスの提供体制の充実 | | | | | | | |
| (2) 進捗状況 (活動指標) (Do) | | | | | | | |
| 年度 | | 平成30年度(2018年度) | | 令和元年度(2019年度) | | 令和2年度(2020年度) | |
| | | 実績 (/ 月) | | 実績 (/ 月) | | 実績 (/ 月) | |
| | | 利用者数 | 利用量 | 利用者数 | 利用量 | 利用者数 | 利用量 |
| 生活介護 | | 933人 | 16,952人日 | 1,085人 | 18,450人日 | 1,120人 | 19,050人日 |
| 自立 (機能) 訓練 | | 6人 | 98人日 | 5人 | 40人日 | 5人 | 40人日 |
| 自立 (生活) 訓練 | | 61人 | 985人日 | 95人 | 1,045人日 | 100人 | 1,100人日 |
| 療養介護 | | 36人 | / | 40人 | / | 40人 | / |
| 就労移行支援 | | 152人 | 2,498人日 | 138人 | 1,310人日 | 144人 | 1,440人日 |
| 就労継続支援A型 | | 169人 | 3,120人日 | 290人 | 4,030人日 | 330人 | 4,580人日 |
| 就労継続支援B型 | | 381人 | 5,869人日 | 495人 | 6,880人日 | 520人 | 7,220人日 |
| 就労定着支援 | | 24人 | / | 74人 | / | 81人 | / |
| ※以下の利用者数、利用料については年間あわりのもの | | | | | | | |
| 支意 | | 187人 | / | 200人 | / | 200人 | / |
| 授思 | | 12人 | / | 5人 | / | 5人 | / |
| 事陳 | | 設置人数 | / | 2人 | / | 2人 | / |
| 業通 | | 2人 | / | 80人 | / | 80人 | / |
| 手話奉仕員養成研修事業 (手話奉仕員養成講習修了者数) | | 71人 | / | 1,090人 | 207,100時間 | 1,100人 | 209,000時間 |
| 移動支援事業 | | 1,078人 | 182,524時間 | 1,090人 | 174,214時間 | 1,100人 | 19,611人日 |
| 日中一時支援事業 | | / | 10,611人日 | / | 18,411人日 | / | / |
| 年度 | | 平成30年度(2018年度) | | 令和元年度(2019年度) | | 令和2年度(2020年度) | |
| | | 実績 | | 実績 | | 実績 | |
| | | 利用者数 | 利用量 | 利用者数 | 利用量 | 利用者数 | 利用量 |
| 自発的活動支援事業 | | 無 | 無 | 有 | 無 | 有 | 有 |
| 地域活動支援センターⅠ型 | | 1か所 | 1か所 | 2か所 | 1か所 | 2か所 | 2か所 |
| 地域活動支援センターⅡ型 | | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 2か所 |
| 地域活動支援センターⅢ型 | | 0か所 | 0か所 | 2か所 | 0か所 | 2か所 | 2か所 |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.11

| 構面別 (Plan) | 2 | 日中活動 (働く・活動する) / 余暇活動 (遊ぶ・学ぶ) の支援体制の整備 |
|---|---|--|
| (3) 重点課題別 評価 (Check) ⇒ 今後の方向性 (Action) | | |
| 重点課題1 福祉サービス事業所の整備 評価 (Check) 障がい者の日中活動を支える、通所系サービス（一部サービスを除く）、移動支援事業及び日中一時支援事業については、実績が必要見込量を下回っており、その要因の一つと考えられるサービス事業所の不足に対処するため、令和元年度（2019年度）は整備促進策の検討を行いました。 | 達成度※ <div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> | |
| 今後の方向性 (Action) 令和2年度（2020年度）から開始した事業所賃借料及び送迎車両購入費用の補助制度の活用状況と整備状況の経過を検証していきます。 ※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった | | |
| 重点課題2 就労支援の充実 | | |
| 評価 (Check) 一般就労に向けた就労支援については、就労移行支援事業の利用者は必要見込量を上回っており、各サービス（支援）につながる障がい者が増えているといえます。幅広い選択肢から各利用者のニーズに合った最適な事業所利用につながれば、より支援の効果は高まると考えられます。また、障がい者の働く場の創出や工賃向上の取組として実施している障がい者就労施設からの優先調達額は、目標額に対する達成率は98.7%と概ね目標達成しており、実績額は前年度を上回っています。優先調達額の更なる増額に向けては、庁内の各業務において委託等を行う際に優先調達の可能性を意識した検討ができるよう、優先調達の取組が引き続き進む必要がある。 | 達成度※ <div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> | |
| 今後の方向性 (Action) 一般就労への移行を促進するため、各利用者のニーズに合った就労移行支援事業所での支援が受けられるよう、引き続き、市内の就労移行支援事業所や障がい者就業・生活支援センター等関係機関の連携体制の構築に取り組みます。 また、障がい者優先調達の推進を図るため、全庁的な取組として浸透するよう庁内への働きかけを積極的に行います。 | | |
| ※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった | | |
| 重点課題3 余暇支援の充実 | | |
| 評価 (Check) 余暇支援の一環である移動支援事業については、令和元年度（2019年度）に単価改定及び精神障がい者の支給決定区分の見直しを実施しましたが、実績は必要見込量を下回っています。また、地域活動支援センターは、令和元年度はⅠ型施設として1か所、Ⅱ型施設は2か所に委託し、創作活動、生産活動及び社会交流の場を提供することができました。未整備のⅢ型施設については、整備に向けた検討を行いました。 | 達成度※ <div style="border: 1px solid black; text-align: center; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> | |
| 今後の方向性 (Action) 移動支援事業については、令和元年度（2019年度）の単価改定等の効果を検証するとともに、外出を支援するための方策について検討を継続します。 また、地域活動支援センターは、地域の障がい者の居場所を確保するため、Ⅰ型施設1か所、また未整備のⅢ型施設の整備に向けて取り組みます。 | | |
| ※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進展があった 「C」目標の達成に向けて進展が見られなかった | | |

第5期障がい福祉計画の進捗状況 No.12

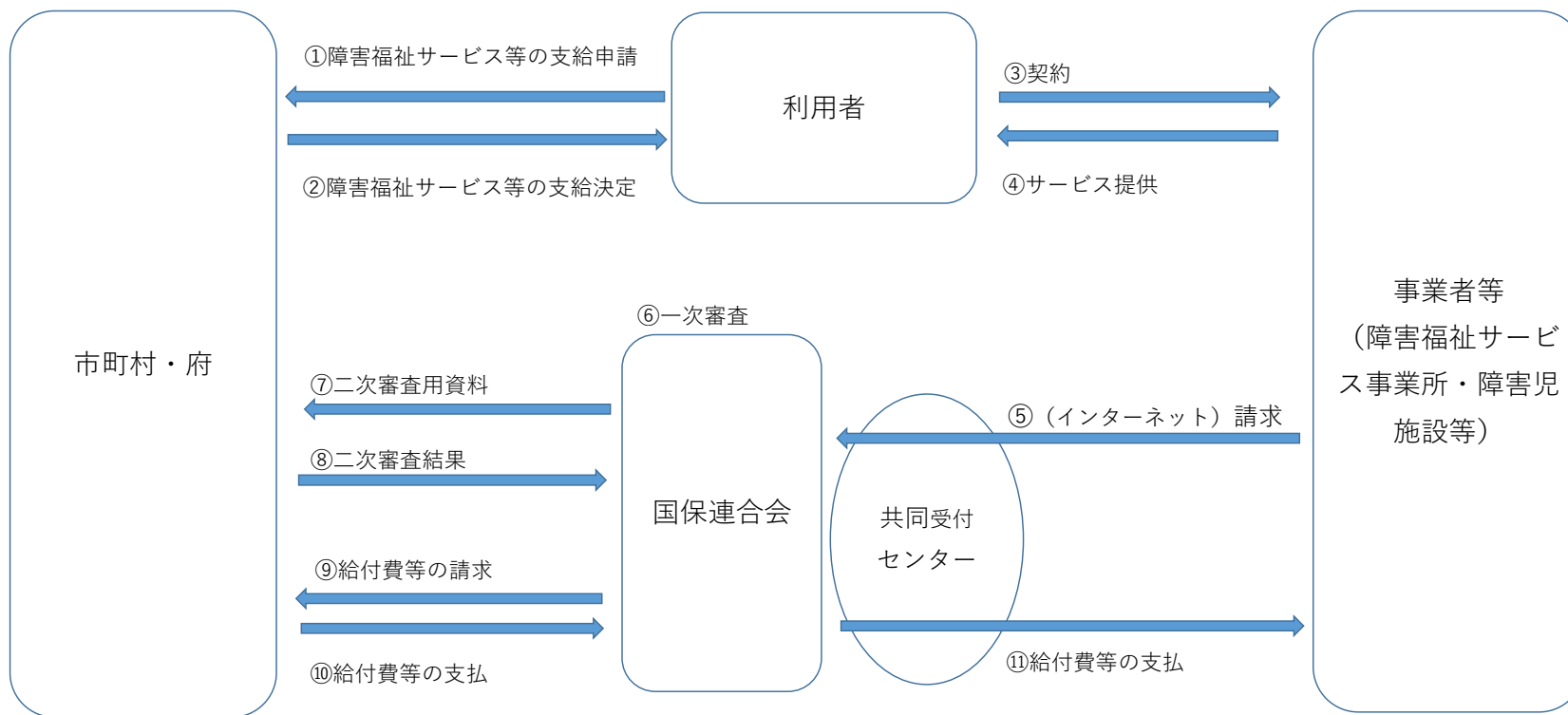
| 場面別 | 3 福祉サービスの担い手の確保 |
|---|-----------------|
| <p>(1) 具体的な取組 (Plan)</p> <p>慢性的な人材不足が続く福祉サービスの担い手において、その量的・質的両面における養成・確保について、その対策を障がい福祉室のみで取り組むのではなく、高齢福祉室、地域経済振興室（労働担当）等の関係部局、大阪労働局及びハローワークと連携し、『吹田市雇用対策協定』に基づいた企画等において、情報を共有しながら取り組みます。</p> <p>(2) 進捗状況 (Do)</p> <p>令和元年度（2019年度）の取組は以下のとおり。</p> <p>①吹田市障がい福祉サービス等人材確保・養成事業 人材養成のための研修費等の一部を補助する制度。（平成30年（2018年）10月運用開始） 実績として13法人から延べ77人が研修を受講し、新たに資格を取得した。 <内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動援護従業者養成研修：11名 ・強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）19名 ・喀痰吸引等研修（1号・2号・3号）：34名 ・同行援護従事者養成研修（一般・応用）：10名 ・移動支援従事者養成研修（全身性・知的・精神）：3名 <p>②就職面接会の実施 ハローワークと共催で1回（7月）実施した。</p> <p>③その他 大阪学院大学ボランティアサークルによる障がい者通所施設の見学を実施した。</p> | |
| <p>(3) 評価 (Check)</p> <p>障害福祉サービス等の提供に必要な資格取得のための研修費等補助制度について、令和元年度（2019年度）の実績は当初見込みを下回ったことから、本補助制度のあり方とより効果的な支援策について検討するため、事業者へのアンケートを実施しました。 また、福祉分野での就労を促すため、就職面接会の実施や福祉分野の仕事のイメージアップの取組が必要です。</p> <p style="text-align: right;">達成度※</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> | |
| <p>(4) 今後の方向性 (Action)</p> <p>研修費等補助制度については、市報掲載や事業者への個別通知を行うなど積極的な利用促進を図るとともに、アンケート結果の分析を行い、制度のあり方を検討します。今後、重層的に人材確保の支援を行えるよう、先行事例を研究し新たな人材確保策を検討します。 また、若年層に福祉分野の仕事に関心を持ってもらえよう取組を継続します。</p> | |

※「A」目標を達成した 「B」目標の達成に向けて進捗があった 「C」目標の達成に向けて進捗が見られなかった

1 事業内容

国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という。）は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）第29条第7項、児童福祉法第24条の3第11項等の規定に基づき、市町村から委託を受けて、障害者総合支援法第96条の2及び児童福祉法第56条の5の2の規定に基づき、事業者等から請求される障害介護給付費等について一次審査を実施し、市町村等における二次審査を経て、市町村への請求と事業所等への円滑な支払を行っている。

本事業において国保連合会へ委託している一連の事務のうち、障害者総合支援法に基づく障害介護給付費等に係る手数料について、支出を行っている。



主な業務内容

- ・ 障害介護給付費審査支払処理（統計処理を含む）
- ・ 障害児給付費審査支払処理（統計処理を含む）
- ・ 特例介護給付費又は特例訓練等給付費審査支払処理（統計処理を含む）
- ・ 特例障害児通所給付費審査支払処理（統計処理を含む）

国保連合会委託事務事業の事業内容及び事業費増加の内訳 NO.2

2 令和元年度（2019年度）における事業費増加の内訳

| 受付月 | 審査手数料単価（単位：円） | | | 審査件数（単位：件） | | | 審査手数料（単位：円） | | |
|-----|-------------------------|------------------------|---------------|-------------------------|------------------------|---------------|------------------------------|-----------------------------|---------------|
| | 平成30年度 （2018年度） ア | 令和元年度 （2019年度） イ | 増加額 ウ（イ－ア） | 平成30年度 （2018年度） エ | 令和元年度 （2019年度） オ | 増加数 カ（オ－エ） | 平成30年度 （2018年度） キ（ア×エ） | 令和元年度 （2019年度） ク（イ×オ） | 増加額 ケ（ク－キ） |
| 4月 | 133 | 142 | 9 | 4,222 | 4,445 | 223 | 561,526 | 631,190 | 69,664 |
| 5月 | 142 | 142 | 0 | 4,205 | 4,509 | 304 | 597,110 | 640,278 | 43,168 |
| 6月 | 142 | 142 | 0 | 4,394 | 4,706 | 312 | 623,948 | 668,252 | 44,304 |
| 7月 | 142 | 142 | 0 | 4,324 | 4,735 | 411 | 614,008 | 672,370 | 58,362 |
| 8月 | 142 | 142 | 0 | 4,269 | 4,635 | 366 | 606,198 | 658,170 | 51,972 |
| 9月 | 142 | 142 | 0 | 4,264 | 4,650 | 386 | 605,488 | 660,300 | 54,812 |
| 10月 | 142 | 144.63 | 2.63 | 4,315 | 4,637 | 322 | 612,730 | 670,648 | 57,918 |
| 11月 | 142 | 144.63 | 2.63 | 4,330 | 4,513 | 183 | 614,860 | 652,714 | 37,854 |
| 12月 | 142 | 144.63 | 2.63 | 4,482 | 4,829 | 347 | 636,444 | 698,417 | 61,973 |
| 1月 | 142 | 144.63 | 2.63 | 4,432 | 4,717 | 285 | 629,344 | 682,218 | 52,874 |
| 2月 | 142 | 144.63 | 2.63 | 4,451 | 4,688 | 237 | 632,042 | 678,024 | 45,982 |
| 3月 | 142 | 144.63 | 2.63 | 4,423 | 4,716 | 293 | 628,066 | 682,074 | 54,008 |

※各月の手数料について、審査の内訳（府内と府外）別件数に単価を掛け合わせ、切り捨て後に合算し算出しているため、乗算値とはならない場合があります。 **A（単位：円）**

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--------|--------|--------------|-----------|-----------|----------------|
| 計 | | | | 52,111 | 55,780 | 3,669 | 7,361,764 | 7,994,655 | 632,891 |
|---|--|--|--|--------|--------|--------------|-----------|-----------|----------------|

| | | | | | | |
|---------------|-------------------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|------------------|
| 令和元年度（2019年度） | 国保連合会審査用専用端末移設委託料（臨時経費） | B（単位：円） | 702,000 | 総増加額（単位：円） | A + B = | 1,334,891 |
|---------------|-------------------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|------------------|

健康医療部資料

| 部 名 | ペー ジ 番 号 | 資 料 名 | 要求委員名 | | | |
|------|-------------------|---|-------|--|--|--|
| | | | | | | |
| 健康医療 | 1 | 令和元年度（2019年度） 受動喫煙防止及び喫煙者減少に向けた取組と実績 | 柿原 | | | |
| 健康医療 | 2 | 過去5年間の国民健康保険料滞納者への土日・夜間相談窓口の対応状況 | 坂口 | | | |
| 健康医療 | 3 | 過去5年間の国民健康保険料滞納者へのコールセンター納付勧奨及び訪問催告の状況 | 坂口 | | | |
| 健康医療 | 4 | 令和元年度（2019年度） 不妊治療費助成事業の実績 | 村口 | | | |
| 健康医療 | 5 | 産婦・新生児・未熟児訪問の詳細 | 西岡 | | | |
| 健康医療 | 6 | 産婦・新生児・未熟児訪問の近隣市の取組状況 | 馬場 | | | |
| 健康医療 | 7 | 吹田市口腔ケアセンターの事業実績と定員を超え申込みのあった事業の申込者数（過去5年間） | 馬場 | | | |
| 健康医療 | 8 | がん検診の目標値と受診者数及び受診率の推移（過去5年間） | 矢野 | | | |
| 健康医療 | 9 | 令和元年度（2019年度）の産婦の口腔ケアと歯が生え始めの子供の口腔ケアの実績 | 村口 | | | |

令和元年度(2019年度) 受動喫煙防止及び喫煙者減少に向けた取組と実績

| 主な取組 | 取組内容 | 実績 |
|-----------------|--|--|
| 啓発 | ・各種乳幼児健診案内送付時において、同封する冊子に禁煙や受動喫煙防止に関する内容を掲載し送付 | ・送付者数 16,973人 |
| | ・吹田市国保健診や、生活習慣病予防健診、集団がん検診の際に配付するリーフレットに、たばこの害や禁煙についての内容を掲載し配付 | ・配付者数 25,298人 |
| | ・一般社団法人吹田市薬剤師会や、大阪府と包括連携協定を結ぶ生命保険会社の協力を得て、禁煙治療費に係る自己負担額一部助成制度のちらしを配付 | ・配付者数 1,000人 |
| | ・受動喫煙防止に関する啓発ポスターを作成し、公共施設、駅、商業施設等に掲示 | ・掲示箇所数 84箇所 (令和2年度(2020年度)掲示箇所も含む) |
| | ・市報すいたや健康すいた(公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団発行)で改正健康増進法や禁煙支援に関する内容を掲載 | ・市報すいた令和元年(2019年)7月号、令和2年(2020年)3月号に掲載 ・健康すいた8月号に掲載 |
| | ・産業フェアやみんなの健康展でたばこの害やCOPD、禁煙に係る啓発を実施 | ・産業フェア参加者数 292人 ・みんなの健康展参加者数 282人 |
| | ・ホームページ等で、禁煙サポート(禁煙治療)のメリットや府内医療機関の情報を提供 | — |
| 禁煙相談 ・ 支援 | ・妊娠届出時等にアンケートを実施し、喫煙妊婦や喫煙している家族に対し禁煙指導を実施 | ・指導件数 813件 |
| | ・保健師による禁煙についての個別相談 | ・相談件数 285件 |
| | ・禁煙治療費に係る自己負担額一部助成制度の実施 | ・助成金交付者数 37人 |
| | ・職員の喫煙率の減少を目指し、「すいた(すわない いらぬ たばこの煙)プロジェクト職員版」を総務部人事室とともに実施 | ・禁煙者数 62人 |
| その他 | ・市有施設における敷地内禁煙の推進 | ・消防本部等14施設で敷地内禁煙の実施 |
| | ・スモークフリー推進庁内方針等を検討するため、吹田市スモークフリー推進庁内検討会議を開催 | ・開催回数 2回。 |

過去5年間の国民健康保険料滞納者への土日・夜間相談窓口の対応状況

土日相談窓口

(単位:件)

| 年度 | 分納誓約 | 減免申請 | 電話相談 | 現金納付 | | 合計件数 | 相談日数 |
|--------------------|------|------|------|------|---------|------|------|
| | | | | 件数 | 金額(円) | | |
| 平成27年度 (2015年度) | 190 | 10 | 90 | 13 | 237,210 | 303 | 24 |
| 平成28年度 (2016年度) | 232 | 29 | 137 | 13 | 553,000 | 411 | 24 |
| 平成29年度 (2017年度) | 139 | 20 | 111 | 4 | 213,000 | 274 | 24 |
| 平成30年度 (2018年度) | 122 | 17 | 164 | 10 | 929,820 | 313 | 24 |
| 令和元年度 (2019年度) | 110 | 20 | 158 | 6 | 348,750 | 294 | 24 |

夜間相談窓口

(単位:件)

| 年度 | 分納誓約 | 減免申請 | 電話相談 | 現金納付 | | 合計件数 | 相談日数 |
|--------------------|------|------|------|------|---------|------|------|
| | | | | 件数 | 金額(円) | | |
| 平成27年度 (2015年度) | 32 | 2 | 35 | 4 | 217,400 | 73 | 12 |
| 平成28年度 (2016年度) | 50 | 8 | 34 | 3 | 214,960 | 95 | 12 |
| 平成29年度 (2017年度) | 45 | 4 | 35 | 1 | 63,000 | 85 | 12 |
| 平成30年度 (2018年度) | 58 | 10 | 66 | 2 | 15,948 | 136 | 12 |
| 令和元年度 (2019年度) | 35 | 11 | 31 | 1 | 5,000 | 78 | 12 |

過去5年間の国民健康保険料滞納者へのコールセンター納付勧奨及び訪問催告の状況

コールセンター納付勧奨

(単位:件)

| 年度 | 納付約束 | 来庁約束 | 不在 | 伝言依頼等 | 通話不能 | 合計件数 |
|--------------------|-------|------|-------|-------|------|--------|
| 平成27年度 (2015年度) | 3,482 | 506 | 5,354 | 5,247 | 686 | 15,275 |
| 平成28年度 (2016年度) | 2,925 | 495 | 4,358 | 3,685 | 467 | 11,930 |
| 平成29年度 (2017年度) | 2,969 | 456 | 4,598 | 3,397 | 466 | 11,886 |
| 平成30年度 (2018年度) | 2,630 | 450 | 3,849 | 2,963 | 415 | 10,307 |
| 令和元年度 (2019年度) | 2,747 | 407 | 4,285 | 3,007 | 369 | 10,815 |

訪問催告

(単位:件)

| 年度 | 納付約束 | 来庁約束 | 不在 | 伝言依頼等 | 所在不明 | 現金徴収 | | 合計件数 |
|--------------------|------|------|-------|-------|------|-------|------------|-------|
| | | | | | | 件数 | 金額(円) | |
| 平成27年度 (2015年度) | 500 | 242 | 5,627 | 806 | 220 | 1,480 | 14,714,810 | 8,875 |
| 平成28年度 (2016年度) | 425 | 220 | 4,637 | 620 | 258 | 1,394 | 15,327,628 | 7,554 |
| 平成29年度 (2017年度) | 379 | 170 | 4,047 | 895 | 171 | 1,203 | 14,043,758 | 6,865 |
| 平成30年度 (2018年度) | 424 | 164 | 3,568 | 771 | 219 | 926 | 10,074,256 | 6,072 |
| 令和元年度 (2019年度) | 230 | 111 | 2,651 | 404 | 129 | 736 | 7,780,472 | 4,261 |

令和元年度(2019年度) 不妊治療費助成事業の実績

1. 事業概要

合計所得が730万円以上の夫婦が、特定不妊治療(体外受精、顕微授精)を受けた場合、治療費の一部を助成する。

* 合計所得が730万円未満の場合は、大阪府による「不妊に悩む方への特定不妊治療支援事業」による助成あり。

2. 受給者人数

53人

* 予算額 10,500,000円 決算額 9,950,000円

3. 助成額別人数

| 助成金額 | 人数 |
|--------------------------|-----|
| 200,000円未満 | 15人 |
| 200,000円以上 400,000円未満 | 36人 |
| 400,000円以上 | 2人 |
| 合計 | 53人 |

産婦・新生児・未熟児訪問の詳細

1 産婦・新生児・未熟児の把握経路(過去3年間)

(単位:人)

| | 出生数 | 把握人数 | 把握経路(重複あり) | | | | | その他 |
|--------------------|-------|-------|------------|------|-----|------|--------|-----|
| | | | 出生連絡票 | 医療機関 | 電話 | 産婦健診 | 養育医療申請 | |
| 平成29年度 (2017年度) | 3,235 | 2,461 | 2,008 | 232 | 208 | | 39 | 160 |
| 平成30年度 (2018年度) | 3,173 | 2,449 | 1,833 | 285 | 290 | 166 | 41 | 154 |
| 令和元年度 (2019年度) | 3,004 | 2,593 | 2,019 | 339 | 267 | 168 | 38 | 77 |

* 産婦健診については、平成30年(2018年)6月より実施。

2 産婦・新生児・未熟児訪問実績及び予算執行状況の推移(過去3年間)

(単位:人)

| | 産婦 | | 新生児 | | 未熟児 | | 計 | | 執行額 |
|--------------------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------------|
| | 実人数 | 延人数 | 実人数 | 延人数 | 実人数 | 延人数 | 実人数 | 延人数 | |
| 平成29年度 (2017年度) | 1,747 | 2,292 | 211 | 242 | 180 | 239 | 2,138 | 2,773 | 8,430,740円 |
| 平成30年度 (2018年度) | 1,798 | 2,442 | 207 | 241 | 179 | 258 | 2,184 | 2,941 | 10,420,620円 |
| 令和元年度 (2019年度) | 1,999 | 2,489 | 252 | 283 | 242 | 305 | 2,493 | 3,077 | 10,735,276円 |

* 訪問人数についてはいずれも助産師(大阪府助産師会に委託)または保健師が訪問した人数の合計。

* 執行額については助産師(大阪府助産師会)訪問の委託料。

産婦・新生児・未熟児訪問の近隣市の取組状況

| 自治体名 | 訪問実施者※ | 助産師訪問回数 | 助産師訪問 可能期間 |
|------|---------------------------|---------|---------------|
| 吹田市 | 助産師または保健師 | 最大5回 | 生後2か月未満 |
| 高槻市 | 基本は助産師 (未熟児は保健師が対応) | 最大2回 | 生後4か月未満 |
| 茨木市 | 助産師または保健師 (未熟児は保健師が対応) | 最大2回 | 生後2か月未満 |
| 豊中市 | 助産師または保健師 | 最大2回 | 生後4か月未満 |
| 箕面市 | 助産師または保健師 | 最大2回 | 生後4か月未満 |
| 摂津市 | 助産師または保健師 | 最大2回 | 生後4か月未満 |

※いずれの市も保健師は地区担当保健師が対応するため、訪問の回数や訪問期間に制限はない。
吹田市、高槻市、茨木市は助産師の訪問を大阪府助産師会に委託。

吹田市口腔ケアセンターの事業実績と定員を超え申込みのあった事業の申込者数(過去5年間)

委):委託事業 補):補助事業

| 事業名 | 年度 | 概要 | 平成27年度 (2015年度) | | 平成28年度 (2016年度) | | 平成29年度 (2017年度) | | 平成30年度 (2018年度) | | 令和元年度 (2019年度) | |
|------------------------------|----|---|--------------------|--------------|--------------------|--------------|--------------------|---------------|--------------------|---------------|-------------------|---------------|
| | | | 回数 | 利用者数 | 回数 | 利用者数 | 回数 | 利用者数 | 回数 | 利用者数 | 回数 | 利用者数 |
| 1 委) 口腔ケア活動推進業務 | | 展示コーナーにおける歯と口腔の健康づくりに関する情報発信及び相談 | | 延べ 9,163人 | | 延べ 8,897人 | | 延べ 10,897人 | | 延べ 11,440人 | | 延べ 10,097人 |
| 2 委) 赤ちゃんの歯の広場 | | 乳児とその保護者を対象に歯科医師の講義・相談、歯科衛生士の口腔ケア実技指導(定員20人/回) | 24回 | 409人 | 24回 | 398人 | 24回 | 334人 | ※1 23回 | 361人 | ※2 22回 | 356人 |
| 3 補) 障がい者(児)のお口のケアとリハビリテーション | | 口腔内診査、口腔機能評価と機能訓練や口腔ケア指導(定員10人/回) | 12回 | 63人 | 12回 | 79人 | 12回 | 48人 | 12回 | 50人 | ※2 11回 | 37人 |
| 4 補) 歯の学校 | | 小学生、幼稚園児・保育園児を対象に講話、口腔ケアに関する知識の普及・啓発及び職業体験学習 | 10回 | 440人 | 11回 | 458人 | 10回 | 376人 | 10回 | 389人 | ※3 8回 | 473人 |
| 5 補) 介護職向け口腔ケア実践講座 | | 老人介護施設等の職員に歯科医師の口腔ケアの重要性の講義と歯科衛生士の実践指導(定員10人/回) | 3回 | 24人 | 3回 | 27人 | 3回 | 21人 | 3回 | 24人 | ※2 2回 | 20人 |
| 6 補) イキイキお口のケア相談 | | 口腔機能に問題がある高齢者や要介護者を介護する家族に、歯科医師が相談及び指導(定員10人/回) | 12回 | 85人 | 12回 | 99人 | 12回 | 144人 | 12回 | 105人 | ※2 11回 | 89人 |
| 7 補) お口の健康体操教室 | | 歯科衛生士、音楽療法士が音楽を利用したお口の健康体操を指導(定員40人/回) | 12回 | 564人 | 12回 | 581人 | 12回 | 650人 | 12回 | 593人 | ※4 10回 | 457人 |
| | | | (申込者数 989人) | | (申込者数 944人) | | (申込者数 1,013人) | | (申込者数 1,273人) | | ※5(申込者数 1,038人) | |

※1地震のため1回開催を中止

※2新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月の開催を中止

※3新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3回の開催を中止

※4 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2月、3月の開催を中止

※5 令和元年度(2019年度)4月から2月分の申込者数

がん検診の目標値と受診者数及び受診率の推移(過去5年間)

| | | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | ※1 目標受診率 |
|-------------|------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------|
| ※2 胃がん検診 | 受診者数 | 3,103人 | 3,972人 | 3,941人 | 3,617人 | 3,186人 | 4.9%以上 |
| | 受診率 | 4.2% | 5.8% | 5.9% | 5.2% | 4.5%(6.5%) ※3 | |
| 肺がん検診 | 受診者数 | 18,001人 | 19,490人 | 19,930人 | 19,541人 | 19,391人 | 24.5%以上 |
| | 受診率 | 22.2% | 23.9% | 24.2% | 21.7% | 20.9% | |
| 大腸がん検診 | 受診者数 | 27,790人 | 28,187人 | 28,216人 | 26,473人 | 25,814人 | 30.5%以上 |
| | 受診率 | 29.0% | 28.7% | 28.2% | 24.2% | 22.6% | |
| ※4 乳がん検診 | 受診者数 | 11,350人 | 10,992人 | 10,422人 | 9,395人 | 9,326人 | 50%以上 |
| | 受診率 | 48.9% | 49.3% | 48.2% | 44.1% | 41.0% | |
| 子宮がん検診 | 受診者数 | 12,389人 | 13,337人 | 12,917人 | 11,959人 | 11,980人 | 50%以上 |
| | 受診率 | 44.5% | 40.3% | 43.7% | 41.1% | 39.2% | |

受診率は、国のがん対策推進基本計画に基づき対象を40歳～69歳(子宮がん検診は20～69歳)とし、大阪府において示された対象者算出式より算出している。

※1 目標受診率:健康すいた21(第2次)における本市の令和2年度(2020年度)目標受診率

※2 令和2年(2020年)1月から胃内視鏡検査による胃がん検診を開始

※3 令和2年(2020年)1月から50歳以上を対象に胃がん検診内視鏡検査を実施したことに伴い、50～69歳の大阪府において示された対象者算出式より算出した受診率を()内に表示

※4 乳がん検診は40歳以上の視触診とマンモグラフィーの併用検診

令和元年度(2019年度)の産婦の口腔ケアと歯が生え始めの子供の口腔ケアの実績

1 産婦歯科健康診査

【対象】 出産後1年以内の産婦

【実施内容】 出産後1年以内に1回無料で、市内の協力歯科医院で問診、口腔内診査、歯面清掃及び歯科保健指導を実施。希望者には1歳未満の乳児の歯科相談を実施。

| 対象者数 | 受診者数 | 受診率 |
|--------|------|-------|
| 3,004人 | 639人 | 21.3% |

※令和元年(2019年)10月より吹田市歯科医師会に委託し実施。

2 赤ちゃんの歯の広場

【対象】 生後4か月から1歳までの乳児とその保護者

【実施内容】 歯科医師の講義や相談、歯科衛生士の口腔ケアの実技指導を実施。
定員20組 参加費は無料

【実施場所】 保健センター南千里分館

| 開催回数 | 受講者数 |
|------|------|
| 22回 | 356人 |

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月の開催を中止。

※口腔ケアセンター委託事業